



社会福祉法人 えどがわ

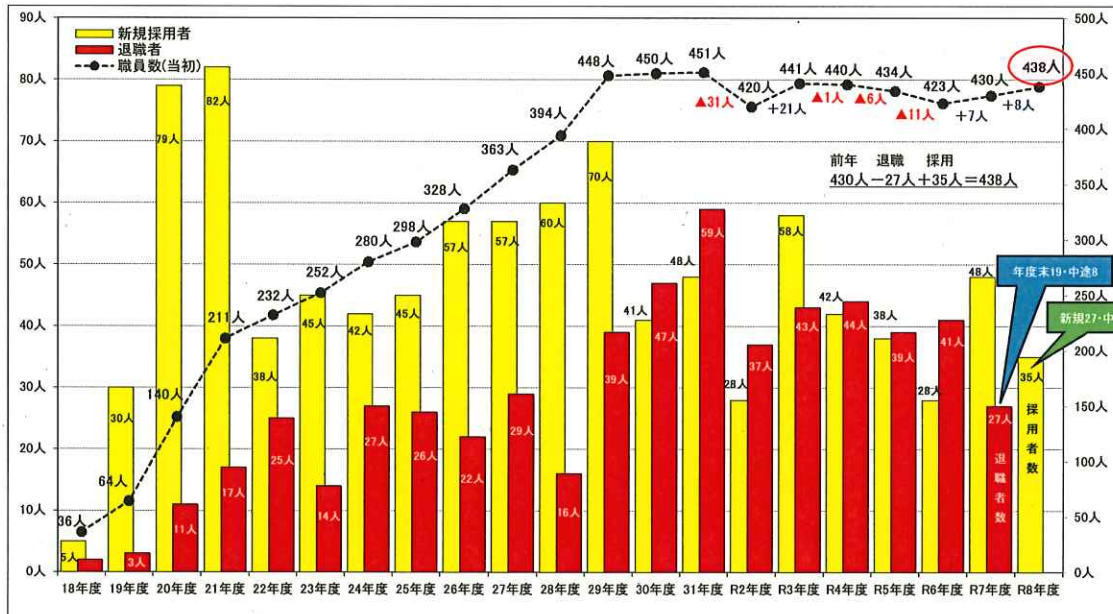
令和7年度 総括事務事業報告



- 職員の状況(採用・退職の推移)
- 第三者評価(利用者調査)の状況
- 給与規程等の改正(給料表改定)
- 職層別モデル賃金の比較
- 積立金の状況(経年の推移)
- 給食委託事業者の変更(2社へ)
- 在園児の状況(年度別の推移)
- こども誰でも通園制度の実施
- キャリア手当の新設(処遇改善等加算区分3)
- 令和7年度 法人全体の決算
- 施設の状況(建築後年数など)
- 選ばれる保育園づくり(保育活動・施設整備)

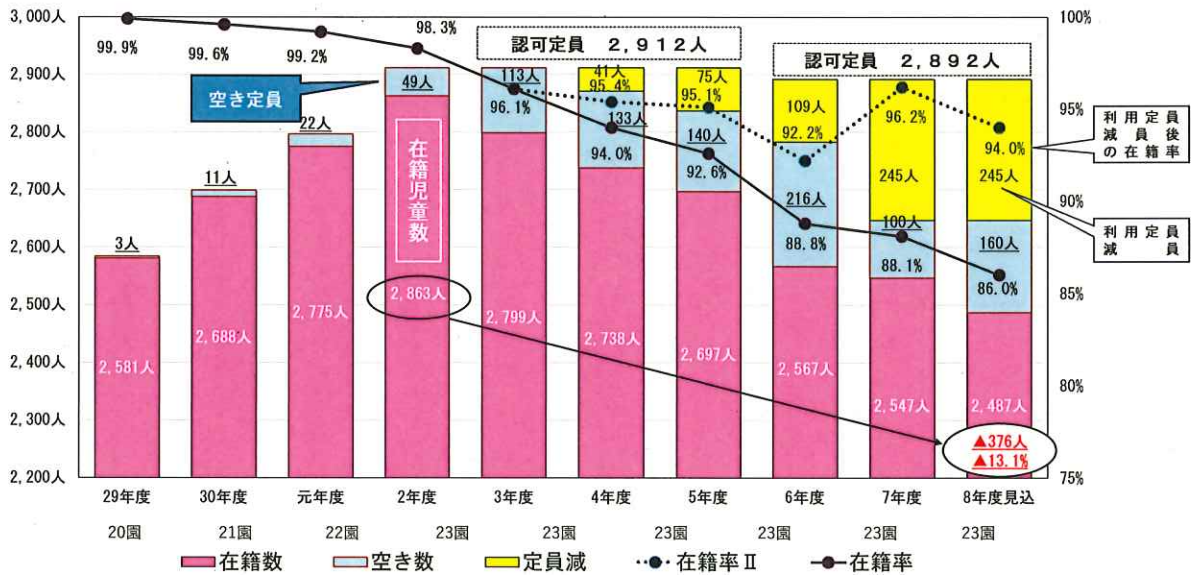
職員数(採用・退職)の推移

採用も退職も減少・誰通職員分は確保・離職率6.3%



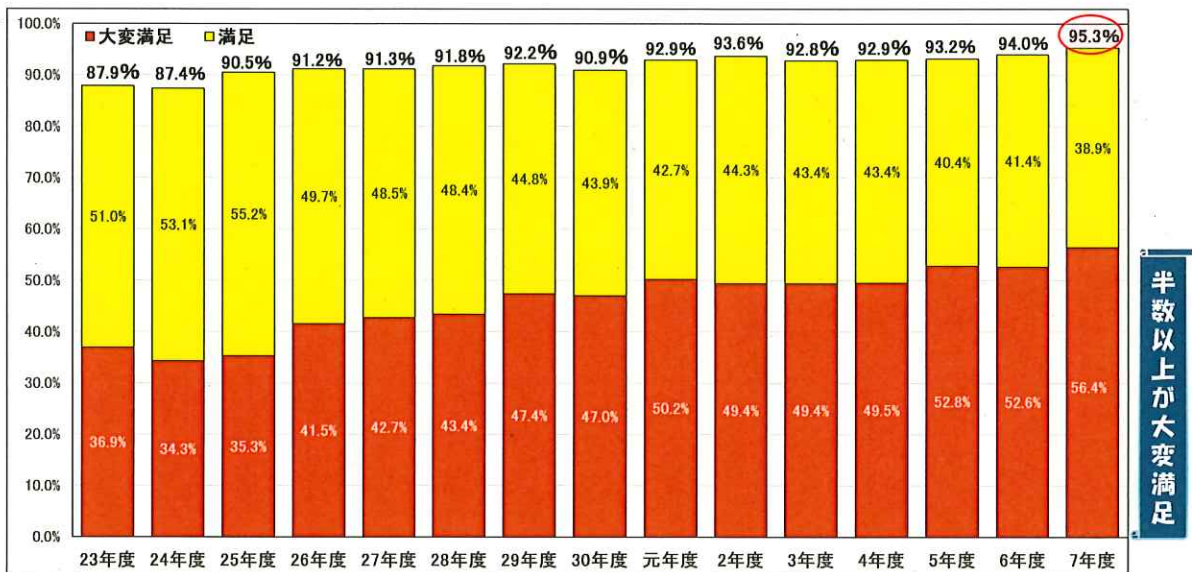
在籍数と在籍率の推移

R2年から▲376人(1歳43人・2歳60人・3歳99人・4歳以上174人)



第三者評価・利用者調査 満足度調べ

満足度は確実に上昇(過去最高の95.3%)



乳児等通園支援事業の実施

(こども誰でも通園制度)

おひさま保育園らしい誰通制度
令和8年6月スタート

【実施園】

- ① 葛西 ② 東小松川 ③ 鹿骨 ④ 小松川

運営スタートは6月を予定

【実施方式】 一般型 (専用室独立型)

【定員設定】 1歳・2歳 各2名 計4名

【利用枠】 平日：午前9時から午前11時30分

【その他】 原則**定期利用**、親子通園必須(2回)

【職員配置】 **保育士2名**配置(基本正規職員)



利用者用しおり



お申し込みのお願い

1. 利用希望決定(※)
2. 利用希望決定後、お申し込み書(※)
3. 申請書の受付
4. 利用希望決定(※)
5. 当日の利用

※お申し込み書は、お申し込みの受付窓口にてお申し込みください。

ポスターとリーフレット

6月から

こども誰でも通園制度

はじまります

- 1歳から2歳の
保育年齢に達して
いないお子さんが
対象
- 専任の保育士が
専用保育室で
丁寧な保育を
行います
- 利用時間は
平日9:00~11:30
月24時間まで可能
- 定期利用していた
だくことで
お子さんの育ちを
応援します
- 料金は
おひさま保育園の方
が負担

こども誰でも通園制度利用にあたっては、江戸川区へ認定申請が必要です

詳細は江戸川区またはおひさま保育園の實施園にお問合せください

實施園
葛西おひさま保育園(葛西地区) 東小松川おひさま保育園(中央地区)
小松川おひさま保育園(小松川地区) 鹿骨おひさま保育園(鹿骨地区)

江戸川区
こども誰でも通園制度

一般周知用

こども誰でも通園制度



この制度で通園したい？

すべてのこどもが通園できるように、こどもの発達と生活リズムを考慮する
ため、保育時間や一定時間以内での利用です

対象

1歳から2歳の保育年齢に達していない子ども
保護者のみの参加が原則です

定員

1歳児：2名、2歳児：2名 計4名

利用時間

平日9:00から11:30
月24時間まで利用可能

料金

江戸川区の保育料

給与規程等の改正

国家公務員の給与改定に準じて給料表を改定

1. 給与規程(令和8年4月1日施行)

- 【改正理由】 ① 令和7年度の給与改定分(保育士処遇改善ペースで**+5.3%**)を恒久的に支給するため
 ② **キャリア手当**を新設するため (月額2万円・1万円) ※処遇改善加算(区分3)

【主な内容】 ① 給料表(別表1)を国家公務員(福祉職給料表)の改定率に準じて改定する

改定率 最大5.25%~最小3.00% 改定額 月額平均 9,823円(3.90%)

2. 短時間勤務職員就業規則(令和8年4月1日施行)

【改正理由・内容】 キャリア手当を追加するため

3. 非常勤職員の採用時賃金及び昇給等の内規(令和8年4月1日施行)

【改正理由】 正規職員同様に恒久的にベアを支給するため

【主な内容】 月給制職員 ⇒ 月額賃金基準表(別表1)を正規職員給料表に準じて改定する
 時給制職員 ⇒ **時給単価改定 +30円(ベア分)・+20円(定期昇給)**

令和8年度給料表改定

現行給料表

職階の級 号 位	給料表(現行)				
	1級	2級	3級	4級	5級
1	190,900	220,000	—	—	—
2	192,900	221,700	—	—	—
3	194,900	223,400	—	—	—
4	196,900	225,000	—	—	—
5	198,900	226,700	—	—	—
6	200,900	228,400	—	—	—
7	201,900	230,200	—	—	—
8	203,900	231,900	—	—	—
9	205,900	233,600	—	—	—
10	206,300	234,500	—	—	—
11	207,600	236,000	—	—	—
12	208,700	238,000	—	—	—
13	209,800	240,000	—	—	—
14	211,300	241,800	—	—	—
15	179,800	212,600	243,500	—	—
16	181,200	214,000	244,600	—	—
17	183,000	215,200	246,100	—	—
18	185,000	216,300	248,000	—	—
19	187,200	217,700	249,900	—	—
20	189,000	219,200	251,200	—	—
21	192,200	220,600	252,200	281,200	—
22	193,500	221,900	254,200	283,700	—
23	195,000	223,400	256,100	286,000	—
24	196,600	225,000	257,900	288,400	—
25	198,400	227,000	259,300	291,300	—
26	200,100	229,000	261,100	292,400	—
27	201,800	230,800	263,300	294,600	—
28	203,600	232,400	265,800	296,800	—
29	204,400	234,100	268,600	300,600	—
30	205,400	235,200	269,800	302,900	—
31	206,500	236,400	270,600	305,100	—
32	207,600	237,600	272,000	305,200	—
33	208,500	242,200	274,200	306,800	309,500
34	209,400	244,200	275,700	309,400	311,800
35	210,300	246,500	277,600	310,800	312,500
36	211,400	248,700	279,100	312,700	315,800
37	212,600	250,200	280,300	314,700	318,300
38	214,000	252,200	282,600	316,300	321,000
39	215,300	254,500	284,600	318,700	322,700
40	216,600	256,800	287,000	321,000	325,100

短大・専門学校卒
月額190,000円

短大・専門校卒
は月額1万円
(5.3%)の増額



改定給料表

職階の級 号 位	給料表(改定)				
	1級	2級	3級	4級	5級
1	200,900	231,600	—	—	—
2	203,000	233,300	—	—	—
3	205,300	235,400	—	—	—
4	207,200	238,000	—	—	—
5	208,900	238,600	—	—	—
6	210,500	240,400	—	—	—
7	212,500	242,300	—	—	—
8	214,200	244,000	—	—	—
9	215,900	245,700	—	—	—
10	217,600	247,400	—	—	—
11	219,300	249,100	—	—	—
12	221,000	250,800	—	—	—
13	222,700	252,500	—	—	—
14	224,400	254,200	—	—	—
15	226,100	255,900	—	—	—
16	227,800	257,600	—	—	—
17	229,500	259,300	—	—	—
18	231,200	261,000	—	—	—
19	232,900	262,700	—	—	—
20	234,600	264,400	—	—	—
21	236,300	266,100	289,600	—	—
22	238,000	267,800	292,200	—	—
23	239,700	269,500	294,800	—	—
24	241,400	271,200	297,100	—	—
25	243,100	272,900	299,000	—	—
26	244,800	274,600	300,900	—	—
27	246,500	276,300	302,800	—	—
28	248,200	278,000	304,700	—	—
29	249,900	279,700	306,600	—	—
30	251,600	281,400	308,500	—	—
31	253,300	283,100	310,400	—	—
32	255,000	284,800	312,300	—	—
33	256,700	286,500	314,200	316,000	—
34	258,400	288,200	316,100	317,700	320,000
35	260,100	289,900	318,000	320,000	322,500
36	261,800	291,600	320,000	322,100	325,400
37	263,500	293,300	322,100	324,100	327,600
38	265,200	295,000	324,200	326,000	330,000
39	266,900	296,700	326,300	328,000	332,400
40	268,600	298,400	328,400	330,000	334,900

改定後給料
月額200,000円
+5.3%

月額
10,400円増
+5.2%

給料が10,000円アップすると
調整手当 ボーナス
(1万円×115%)×(12月+4.1月)
= 185,150円(月平均15,400円UP)
更に処遇改善手当8%も増額されます

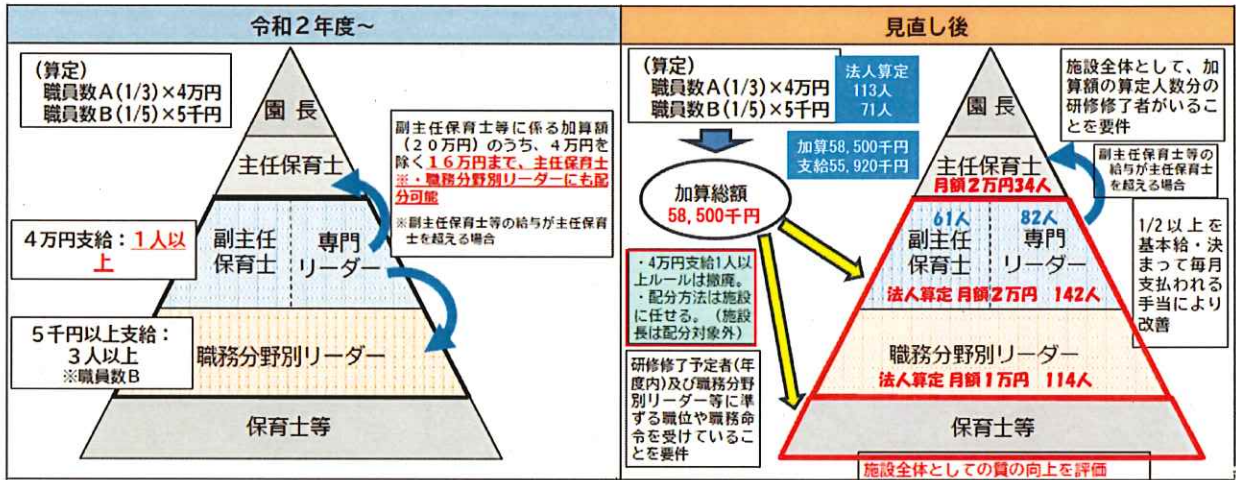


処遇改善等加算の一本化(キャリア手当新設)

処遇改善加算(区分3)の法人対応(4万円ルール撤廃)

- ① 4万円ルールの撤廃
- ② 算定人数分の研修受講済者

※R7年度は研修受講者を確保
 ※R8年度より加算を受け
 キャリア手当(2万円・1万円)支給



※新規採用職員や異動状況を見極めながら、複数年かけ安定化を図っていきます

平成29年5月29日
 理事会資料

職層別給与月額と比較

制度創設時の法人給与

2017/4/12



モデル賃金

令和8年度 給料改定による年収ベースの試算

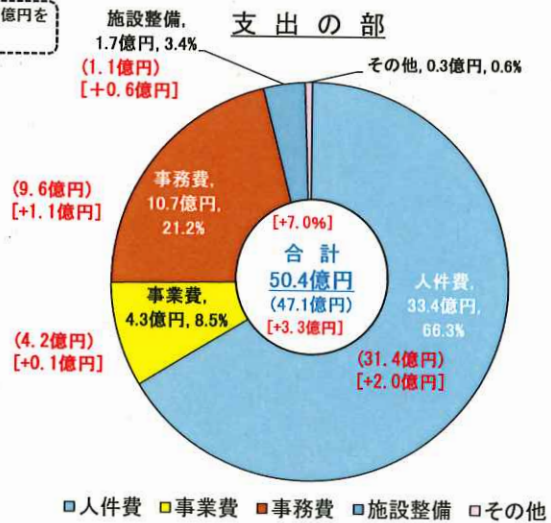
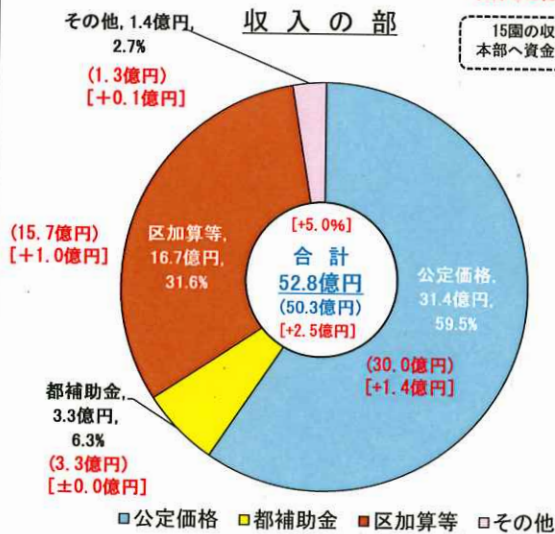
キャリア手当を新設

経験年数	職務名	号給	給料	調整手当 (給料×15%)	処遇改善手当 (8%・6%・4%)	処遇改善手当 (定額)	新処遇 改善手当	職層手当 (管理職手当)	キャリア手当 (8年度新設)	計	期末勤勉(4.6月) 4月採用は4.1月	年収ベース	
短大卒 初任給	8年度	1級20号	200,000円	30,000円	8%	16,000円	20,000円	10,000円	5,000円	0円	281,000円	943,000円	4,315,000円
	7年度		190,000円	28,500円	8%	15,200円	20,000円	10,000円	5,000円	0円	268,700円	895,850円	4,120,250円
	比較		10,000円	1,500円	800円	0円	0円	0円	0円	12,300円	47,150円	194,750円	4.7%UP
上級職 (4年目)	8年度	2級12号	219,700円	32,955円	8%	17,576円	20,000円	10,000円	8,000円	10,000円	318,231円	1,162,213円	4,980,985円
	7年度		208,700円	31,305円	8%	16,696円	20,000円	10,000円	8,000円	0円	294,701円	1,104,023円	4,640,435円
	比較		11,000円	1,650円	880円	0円	0円	0円	10,000円	23,530円	58,190円	340,550円	7.3%UP
副主任 (9年目)	8年度	3級15号	256,300円	38,445円	6%	15,378円	20,000円	10,000円	20,000円	20,000円	380,123円	1,355,827円	5,917,303円
	7年度		243,500円	36,525円	6%	14,610円	20,000円	10,000円	20,000円	0円	344,635円	1,288,115円	5,423,735円
	比較		12,800円	1,920円	768円	0円	0円	0円	20,000円	35,488円	67,712円	493,568円	9.1%UP 4.7%キャリア除
主任 (最終保障)	8年度	3級24号	270,000円	40,500円	6%	16,200円	20,000円	10,000円	30,000円	20,000円	406,700円	1,428,300円	6,308,700円
	7年度		257,900円	38,685円	6%	15,474円	20,000円	10,000円	30,000円	0円	372,059円	1,364,291円	5,828,999円
	比較		12,100円	1,815円	726円	0円	0円	0円	20,000円	34,641円	64,009円	479,701円	8.2%UP
副園長 (最終保障)	8年度	3級38号	291,100円	43,665円	6%	17,466円	20,000円	10,000円	35,000円	20,000円	437,231円	1,539,919円	6,786,691円
	7年度		282,600円	42,390円	6%	16,956円	20,000円	10,000円	35,000円	0円	406,946円	1,494,954円	6,378,306円
	比較		8,500円	1,275円	510円	0円	0円	0円	20,000円	30,285円	44,965円	408,385円	6.4%UP
園長 (最終保障)	8年度	4級37号	324,100円	48,615円	4%	12,964円	20,000円	10,000円	72,410円	20,000円	508,089円	1,714,489円	7,811,557円
	7年度		314,700円	47,205円	4%	12,588円	20,000円	10,000円	71,470円	0円	475,963円	1,664,763円	7,376,319円
	比較		9,400円	1,410円	376円	0円	0円	940円	20,000円	32,126円	49,726円	435,238円	5.9%UP

令和7年度決算

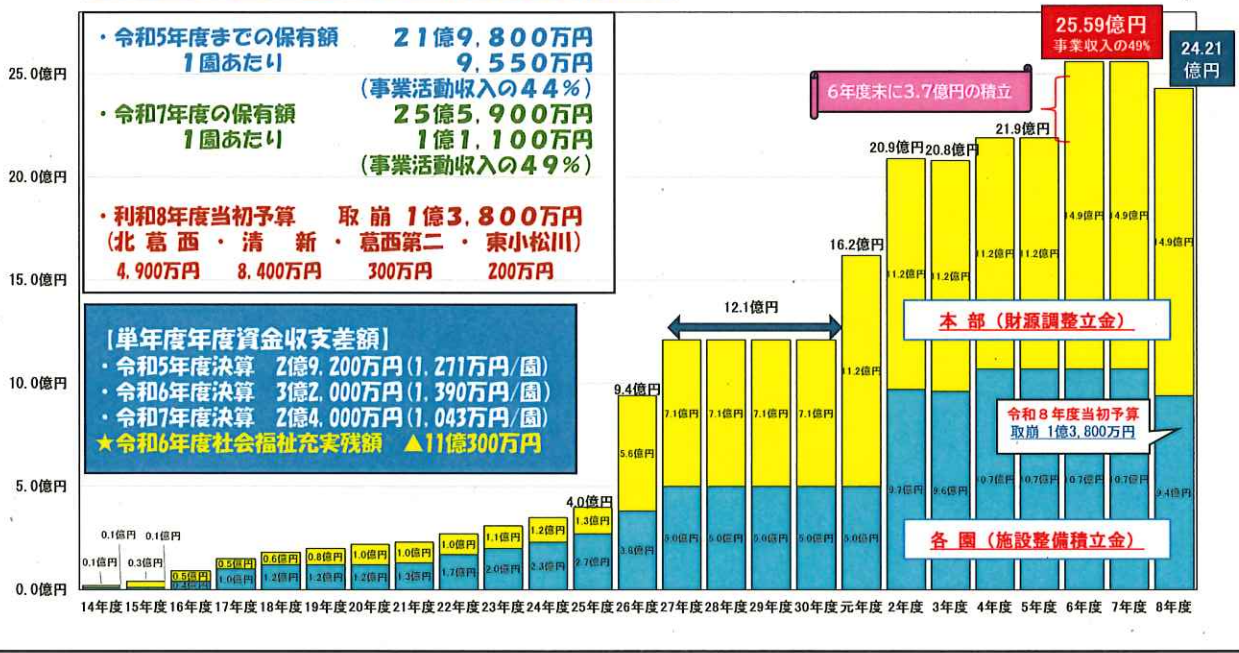
今期収支差額 +2億4千万円
収支差額率 + 4.5%

()は前年度決算
(注)拠点区分間の繰入繰出を
控除した総計決算額とした



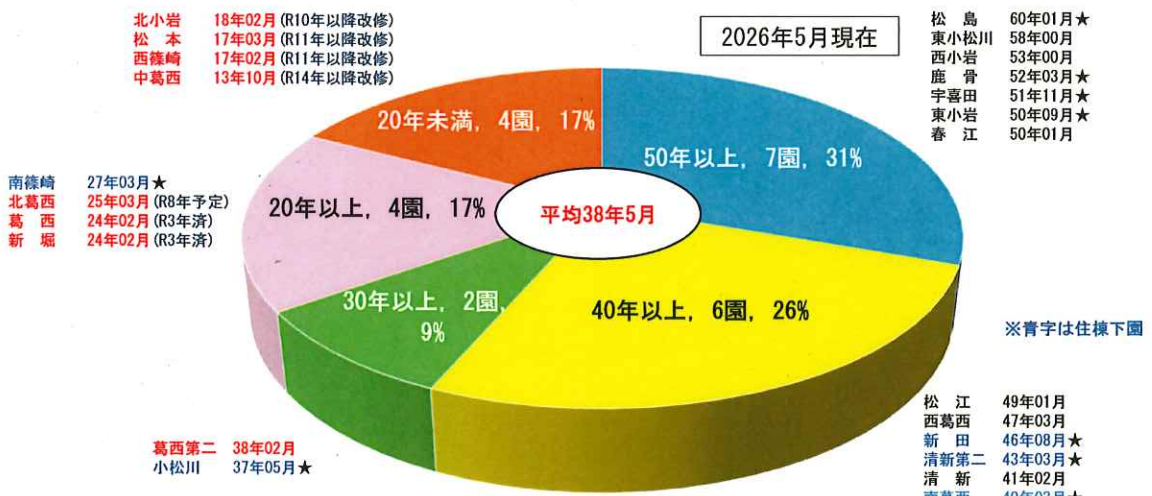
積立金の推移(留保財源)

1億3,800万円を取崩し現在24億2,100万円保有



建築後年数の園数グラフ

赤字の園は築20年を目前に大規模改修
他園は必要なメンテ及び維持工事により延命
※区公共施設の再編整備に準じた措置を予定



※建築後20年程度を目安に大規模改修工事を予定 (赤字)
他園は必要に応じて積立金を活用した維持工事を予定

給食調理業務の委託契約

既存2社への振分け・委託料の大幅増額

3 社体制 ⇒ 既存の2社体制(レオック・ニッコトラスト)

12園 ⇒ 18園 ・ 3園 ⇒ 5園

【職員配置等仕様変更】

- ・ 認可定員の2区分 ⇒ 利用定員の4区分
- ・ 職員配置基準を柔軟かつ弾力化(正規職員とパート職員・栄養士と調理師)

【委託料の改定】

- ・ 認可定員2区分(122万円・142万円) ⇒ 利用定員4区分(130万円～160万円)

★ **年間総額 3億9,151万円 ⇒ 4億3,164万円 + 4,013万円(+10.3%)**

選ばれる保育園づくりと施設整備事業

○ 選ばれる保育園づくり

- ①専任講師による保育活動(英語遊び・体育遊び)
 - ②幼児への体操服無償貸与
 - ③おむつ等のサブスク
 - ④出張子育てひろば
 - ⑤安全安心の園内カメラ設置
 - ⑥乳児等預かり支援事業
 - ⑦適正な利用定員への変更
 - ⑧65歳定年制と短時間正規職員
 - ⑨子育て支援制度の拡充(育休・短時間勤務など)
 - ⑩SNSの活用(Xからの発信)
- ★臨床心理士による全園巡回(拡大中) ★予算の標準化 ★集中購買 ★ブランド力

★印は未達成事項 ★印は強化事項

○ 施設整備事業

- ①乳児室床暖房(実施中)
 - ②温便座への変更(ほぼ完了)
 - ③LED照明交換(R8完了)
 - ④オートロック・防犯カメラ・夜間警備
 - ⑤門扉・フェンスの安全確認(実施中)
- ★猛暑対策 ★休憩室の確保(ノンネットタイム) ★快適な男・女更衣室 ★駐輪場の確保
★園庭の活用と園庭整備 ★PR用整備 ★職員トイレ不足 ★床改修など

令和7年度 総括事務事業報告

1. 職員の状況

平成19年度の民営化以降増加してきた職員数は、平成31年度以降、現状維持も困難となり、緩やかな減少傾向で推移してきた。

しかし、令和7年度は7名増、令和8年度は8名増となり、増加に転じた。

この要因は、人材紹介会社の再活用、地方学校との連携の強化（今年度の採用：盛岡1名・郡山3名）、園長による就職説明会（月2回）や実習生ガイダンスの実施等の取組の成果によるものである。

採用・退職ともに人数が減少する中で職員数が増加した点が、本年度の特徴である。

保育士の求人倍率は依然として高止まりしており、新たな給付事業（こども誰でも通園制度）の影響も含め、当面はこの状況が継続すると見込まれている。

令和7年度の退職者は27名、退職率は6.3%であり、私立保育園全国平均(12.0%)の半分にとどまっている。

このような結果から、今後は離職防止と人材育成を重点課題とし、採用については特定校との継続的な関係構築を進めていく。

2. こども（在園児）の状況

平成28年度以前は定員を上回る受入が続いていたが（平成28年度：在籍2,478人／定員2,470人、在籍率100.3%）、在園児数は令和2年度の民営化最終年度（2,863人）をピークに減少へ転じている。

この背景には、少子化の進行および保育施設数の増加がある。

委託費収入の減少を抑制するため、令和4年度より利用定員を実態に合わせて見直し、園児1人当たりの委託費単価の増額を図ってきた。

令和8年4月現在の在籍児童数は2,487人であり、ピーク時（令和2年度）と比較して376人減（13.1%減）と大きな減少となっている。

今後も新設園の開設が予定されていることから、さらなる減少が見込まれる。

当面は「選ばれる保育園づくり」により減少幅の抑制を図るとともに、中長期的には新規事業の展開および拡大可能事業の検討を進めていく必要がある。

3. 第三者評価・利用者調査

法人では3年ごとに第三者評価を受審し、それ以外の年度は利用者調査を実施している。

満足度は年々向上しており、令和7年度は95.3%、うち「大変満足」は56.4%と、いずれも過去最高を記録した。

一方で、改善を要する意見も寄せられていることから、今後も保護者の安心と満足のためさらなる向上に向け、組織的な改善に取り組んでいく。

4. 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

本制度は、令和8年度より国の給付事業として全国展開されたものであり、法人としても、その趣旨（こどもの育ちにとって必要かつ有益な事業）に賛同し、1年以上前から導入の可能性を検討してきた。

制度の目的に沿いつつ、「おひさま保育園」らしい安全・安心で信頼される運営を基本として、担当園長を中心に検討を進めた。

主な実施内容は以下のとおりである。

- ・実施園：葛西・東小松川・鹿骨・小松川の4園 ※全園専用室設置
- ・定員：4名（1歳2名、2歳2名） ※職員の負担を考慮
- ・利用時間：平日の午前9時から11時30分 ※乳児の特性（午睡）を考慮
- ・利用形態：原則定期利用 ※当該園のみの利用を推奨
- ・職員配置：保育士2名（専任・正規職員） ※経験と専門性が必要

なお、正規職員2名を配置することから、事業収支は当面赤字となる見込みである。

令和8年6月からの実施を予定しており、利用状況や収支等を踏まえ、令和9年度以降の事業展開を検討する。（継続・拡大・縮小・廃止）

5. 給与規程の改正

令和7年8月7日に人事院が提出した国家公務員の給与勧告は、11月11日の給与関係閣僚会議および閣議において実施が決定された。

官民格差は3.62%（平均15,014円）であり、若年層を中心とした34年ぶりの大幅引上げとなった。

期末・勤勉手当も年間4.65月となり、4年連続のプラス改定である。

一方、引上げ額の平均化により、公定価格への反映は昨年の10.7%の半分以下（約5%程度）と見込まれた。

法人では反映額を約1億円と試算し、正規・非正規のバランスを考慮して12月に特別手当を支給した。

- ・正規職員： $(給料 \times 0.3) + 11$ 万円
- ・非常勤職員：勤務形態に応じ12万円/8万円/4万円

その後、区の積上げ集計により加算総額が1億2,200万円と算出されたため、2月に追加支給を行った。（1級職6万円/2級職4万円/3級職以上2万円）

加算は令和8年度以降も継続されるため、国の福祉職給料表に準じて給料表を改定し、処遇改善等加算（区分3）を財源とするキャリア手当を新設した。

6. キャリア手当の創設

国は平成29年度より処遇改善等加算Ⅱを創設し、一定要件を満たす職員に月額4万円または5千円を支給できる制度を設けたが、法人では既存の職層体系（6区分）との整合性から申請を見送ってきた。

令和7年度の処遇改善等加算の一本化により、従来の「4万円支給者を必ず1名置く」要件が撤廃され、園長を除く職員への処遇改善に充当可能となった。

法人では令和7年度を研修要件取得の準備期間とし、令和8年度より区分3の加算を受けることとした。支給額は国基準（4万円・5千円）を「2万円・1万円」とし、より多くの職員に行き渡るとともに格差の縮小に配慮した。

また、区分3の加算を受けることが要件であった1歳児職員配置加算も多くの園で取得可能となり、新たな財源の確保につながった。

7. 令和7年度決算

決算規模は収入52.8億円（前年度50.3億円）、支出50.4億円（前年度47.1億円）で初めて収入支出ともに50億円台に達した。

収入の増加は公務員の給与改定に伴う公定価格が1.4億円の増、区加算の算定見直しによる増額の1.0億円が大半となった。

一方支出では、人件費が給与のベースアップで2.0億円、事務費が1.1億円増（トイレ温便座化等）、施設整備費が1.1億円増（床暖房設置等）となった。

資金収支差額が2億4千万円で収支差率は4.5%であった。

今年度収支を園別にみると6拠点が赤字決算（△2,886万円）となった。

今後、老朽化施設の大規模改修や園児減少などによる収入減が見込まれるため、より一層の適正な予算執行管理が求められる。

また、法人としてのスケールメリットを最大限に発揮するなど、時代に即した財政対応を心掛け、健全財政を堅持していく。

8. 積立金（留保財源）の推移

平成26年度決算より、必要額を超える剰余金は積立金に計上する方針とし、保有財源は各施設経常収入の約10%以内を目安としている。

積立金は本部の財源調整積立金への一本化を進めている。

現在の保有額は24億2,100万円（施設9億3,600万円、本部14億8,500万円）であり、施設分は今後進める維持工事の財源として活用する。

土地・建物を所有しない法人としては十分な水準とは言えず、今後も積立を継続する必要がある。また、高金利状況を踏まえ、資金運用の検討も進めていく。

9. 施設の老朽化および区公共施設再編への対応

江戸川区から無償貸与を受けている23園の平均築年数は38年を超え、築40年以上が13園（57%）である。土地・建物の所有者が江戸川区以外の園も7園存在する。

江戸川区は昨年、2100年に向けたアクションプランを示し、①無償貸付から有償貸付への変更の検討 ②区立保育園33園・1分園を十数園へ再編する方針を掲げ、法人園にも同様の取組を求めている。

法人では築 20 年を目安に大規模改修を行う方針としており、葛西・新堀の 2 園は令和 3 年度に改修済、北葛西は令和 8 年度に施工予定である。北小岩・松本・西篠崎・中葛西（葛西第二は検討）についても、築 20 年を目途に改修を計画していく。

その他の園についても、今後 10 年以上の継続運営を見据え、安全対策や部分改修を積立金により実施し、延命措置を講じていく。

また、区立保育園の再編に伴う法人園の統廃合および建替については、江戸川区と十分に協議の上、検討を進めていく。

10. 給食調理業務の委託契約

給食業務は法人設立以来、外部委託方式で実施しており、「安全・安心でおいしい給食」は法人の強みである。

昨年 8 月、メフォス社より委託料増額（142 万円→172 万円／月・21%増）の要望があり、応じられない場合は撤退する旨の申し出があった。

区立保育園の委託料は令和 6 年度から 7 年度で 10%増、令和 7 年度から 8 年度で 20%増と大幅に増額されており、公契約条例による労働報酬下限額の改定が影響しているとされる。

法人として区立並みの改定は困難であるため、メフォス社が担当していた 8 園は他の 2 事業者へ振り分けた。

委託仕様の見直しと併せ、委託料は平均 10%程度増額した。

給食委託料の年間総額は 3 億 9,151 万円から 4 億 3,164 万円となり、4,013 万円の増額である。

《 総 括 》

令和 7 年度は、法人運営における主要課題が多方面で同時進行した年度であった。

職員確保の改善傾向、在園児数の減少への対応、第三者評価の向上、新制度（誰でも通園）の開始準備、給与制度の大幅改定、キャリア手当の創設、積立金の適正化、老朽施設への対応、給食委託契約の再編など、いずれも法人の中長期的な基盤整備に直結する重要なテーマである。

まず、職員数は長期的な減少傾向から増加へ転じ、採用・退職の両面で安定化が見られることは、法人の持続可能性にとって大きな成果である。

一方で、保育士不足の構造的課題は依然として続くため、人材育成と離職防止を軸とした組織力の強化が不可欠である。

在園児数については、少子化と施設増加の影響により減少が続く中、利用定員の適正化や「選ばれる保育園づくり」により収入減の抑制を図ってきた。

今後も新設園の開設が続くことから、事業の多角化や新規事業の検討が中長期的な課題となる。

第三者評価・利用者調査では過去最高の満足度を得るなど、保育の質向上に向けた取り組みが確実に成果を上げている。

これを一過性の成果とせず、継続的な改善サイクルの構築が求められる。

給与制度については、国家公務員の大幅引上げに伴う公定価格の反映を踏まえ、法人としても特別手当の支給や給料表改定を実施し、さらにキャリア手当を創設した。

これにより職員処遇の底上げが図られたが、財源確保と持続可能性の両立が今後の重要課題となる。

施設面では、老朽化が進む中で区の公共施設再編方針が示され、法人としても大規模改修計画の推進や延命措置の実施が急務となっている。

区との協議を丁寧に進めつつ、将来の統廃合や建替の可能性も視野に入れた戦略的対応が求められる。

給食委託業務については、事業者の撤退要請を受けて委託体制を再編し、委託料の適正化を図った。

物価高騰や人件費上昇が続く中、安定した給食提供体制の維持は法人の信頼性に直結する重要なテーマである。

以上のとおり、令和7年度は法人運営の根幹に関わる多くの課題に対し、必要な対応を着実に進めた年度となった。

令和7年度 事務事業執行状況



みんなの笑顔
みんなの未来

社会福祉法人えどがわ
令和8年6月会議用

8【会 議】

(1)評議員会・理事会

・評議員会運営規程及び理事会運営規程に基づき、議案の審査及び決議を行った。

会 議 名	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
定例評議員会	4回	4回	4回	4回	4回
定例理事会	5回	5回	5回	5回	5回
臨時会	未開催	未開催	1回	未開催	1回
主 な 議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月期 ① 事業報告 ② 決算認定 ・ 9月期 ① 事業中間報告 ② 補正予算 ・ 12月期 ① 事業計画 ② 給食事業者選定 ・ 3月期 ① 当初及び補正予算 				

(注)全期……必要に応じて規程関係及び補正予算(案)あり

(2)幹事会・各園長会

・組織規程に基づき諸会議を開催した。

会 議 名	開 催 日(原則)	参 加 メ ン バ ー
幹 事 会	毎月第一木曜日の午後	局長・次長2人・幹事園長2人 計5人
園 長 会	毎月第二木曜日の午後	局長・次長2人・全園長 計25人
チ ー ム 園 長 会	毎月第四木曜日の午後	3チームごと又は全体会として開催

【人事厚生関係】

(1)総職員数

・各園最低1人の増員となるように、採用及び離職防止に努めた。

区 分	4年度当初	5年度当初	6年度当初	7年度当初
総 職 員 数	440人	434人	423人	430人
採 用	42人	38人	28人	48人
退 職	△43人	46人	39人	41人
増 減	△1人	△6人	△11人	+7人

(2)採用職員

・例年同様に8月より毎月1回の採用選考を実施、人材紹介会社の活用を行った。

区 分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
採 用 職 員 数	43人	37人	28人	48人
4月1日採用	37人	32人	23人	46人
年 中 採 用	6人	5人	5人	2人
うち学卒者	23人	16人	14人	32人
うち経験者	21人	21人	9人	16人
うち男性	4人	2人	1人	3人
うち女性	39人	35人	22人	45人

(3) 退職職員

区 分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
退職職員数	44人	39人	41人	26人
年度末退職	38人	31人	30人	19人
年中退職	6人	8人	11人	7人

(4) 職員の任命(昇任)

・公平公正な選考を心掛けるとともに、引続き副主任昇任選考は筆記選考とした。

区 分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
園長昇任	2人	1人	0人	1人
副園長昇任	2人	2人	5人	2人
主任昇任	3人	3人	3人	4人
副主任昇任	9人	7人	6人	4人
(受験該当者)	(107)	(106)	(109)	(122)
(受験者)	(28人)	(21人)	(22人)	(21人)
上級職昇任	19人	30人	15人	15人

(4-2) 職員のリーダー発令

・キャリアアップ研修の受講及び職務実績など資格要件を満たす職員に発令した。

区 分	8年度実績
専門リーダー	142人
分野別リーダー	114人
計	256人

(5) 職員健康診断

・可能な限り拠点によるバス健診を継続するが、将来は全職員のセンター健診としたい。

区 分	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
受診者数	605人	581人	596人	576人	594人
所見あり	315人	314人	336人	345人	336人
再検査	198人	209人	233人	242人	233人
精密検査	91人	100人	118人	110人	101人

(6) ストレスチェック

・引続き実施し、健康リスクの低減を図った。

区 分	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
量・コントロール	108	105	107	106	106
職場の支援	99	91	94	95	94
総合健康リスク	106	95	100	100	99
最大健康リスク園	139	123	136	118	118
最小健康リスク園	76	78	69	76	72

(7) 法人独自加入保険給付 ・職員にとって有益な保険等はないか更に研究・検討を進める。

区 分	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
施 術 給 付	5件	1件	1件	0件	2件
給 付 額	747,180円	18,750円	106,091円	0円	1,026,600円
ケ ガ 給 付	3件	1件	0件	0件	1件
給 付 額	225,130円	250,000円	0円	0円	202,650円
コ ロ ナ	73件	69件	1件	0件	0件
給 付 額	655,140円	564,525円	11,000円	0円	0円

(8) 傷病手当金申請数

・申請漏れなどの確認を行うとともに、適正な申請を行った。

区 分	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
正 規 職 員 申 請	4人	6人	10人	5人	7人
延 申 請 件 数	11件	17件	13件	5件	8件
非 常 勤 申 請	2人	2人	5人	1人	6人
0件	4件	11件	7件	1件	8件

(9) 居住地の状況(住民税納付場所)

・納税責任を果たした。

区 分	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年実績	7年実績
江 戸 川 区	371人	430人	430人	394人	411人
江 東 区	14人	11人	9人	9人	10人
葛 飾 区	16人	16人	15人	15人	17人
他 区	10人	9人	10人	6人	5人
千 葉 県	43人	42人	48人	46人	45人
埼 玉 県	3人	2人	0人	2人	2人
そ の 他	1人	0人	0人	0人	0人

(10) 産休者・育休者及び短時間勤務者・固定勤務者

・制度周知を進め、使いやすい制度改正や今後の新制度創設の研究を進めた。

区 分	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
総 職 員 数	438人	439人	434人	415人	431人
産 育 休 者	38人	38人	30人	34人	33人
産 育 休 割 合	8.7%	8.7%	6.9%	8.2%	7.7%
短時間・固定勤務者	28人	37人	42人	47人	50人

(11) 介護休業者

区 分	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
総 職 員 数	0人	0人	1人	0人	0人

(12)住宅借上げ利用状況

・社宅である旨の制度周知をするとともに、必要な届出等を勧奨した。

区 分		4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
利 用 職 員 数		172人	159人	153人	159人
事業費	賃 借 料	163,706,995円	16,420,000円	158,062,068円	164,943,880円
	共 益 費 等	9,357,407円	9,381,500円	9,483,658円	9,701,921円
	総 支 出 額	173,064,402円	173,801,500円	167,545,726円	174,645,801円
財 源	補 助 金	131,521,000円	130,779,000円	124,112,000円	124,484,000円
	本 人 負 担 額	22,722,800円	24,321,800円	25,681,800円	32,354,013円
	法 人 負 担 額	18,820,602円	187,007,00円	17,751,926円	17,809,368円

【給与関係】

(1) 例月支給額

・誤支給等が無いように勤怠情報等の確認を適正に行った。

(注)各年度4月分支給実績

区 分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
総支給人数	415人	416人	410人	434人
給 料	94,858,700円	96,329,400円	95,660,400円	103,266,700円
調 整 手 当	11,383,044円	11,559,528円	14,349,060円	1,590,005円
処遇改善手当(率)	6,587,014円	6,667,120円	6,579,678円	6,980,454円
処遇改善手当(定額)	11,695,000円	11,715,000円	11,540,000円	11,621,250円
役 職 手 当	4,807,935円	4,864,155円	7,026,825円	7,072,210円
総 支 給 額	129,331,693円	131,135,203円	135,155,963円	144,430,619円
平 均 支 給 額	311,642円	315,229円	329,648円	332,789円

※令和4年2月より新処遇改善手当(月額1万円)を支給

(注) 令和8年度よりリーダー発令者等にキャリア手当(月額2万円・1万円)を支給予定

(2) 平均年収

・公定価格や各種補助金の変動に連動した給与体系の確立を目指し、検討を進めた。

区 分	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績
全 平 均	4,840,509円	4,897,908円	5,102,114円	5,548,599円

(3) 期末勤勉手当支給月数

・規程上の成績給支給が可能となるように、管理職評価基準の適正化を進めた。

区 分	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	
6月	期末手当	1.0月	1.0月	1.0月	1.05月	1.05月
	勤勉手当	0.8月	0.8月	0.8月	0.85月	0.85月
12月	期末手当	1.0月	1.0月	1.05月	1.10月	1.10月
	勤勉手当	1.0月	1.0月	1.05月	1.10月	1.10月
3月	勤勉手当	0.5月	0.5月	0.5月	0.50月	0.50月
計	期末手当	2.0月	2.0月	2.0月	2.15月	2.15月
	勤勉手当	2.3月	2.3月	2.3月	2.45月	2.45月
	計	4.3月	4.3月	4.3月	4.60月	4.60月

(注)H29年4月に支給月数+0.1月、R2年4月に期末・勤勉の支給割合変更

R6年12月に支給月数+0.1月(期末勤勉それぞれ+0.05月)

【規程類関係】

(1) 新規制定及び改正

・法律の新設及び改正や法人の必要性に応じて規程類の新設・改正・廃止を行った。

区分	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
新設		<ul style="list-style-type: none"> ・公益通報者の保護に関する規程 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業等に関する規程 ・ハラスメント防止規程 ・個人情報保護に関する基本方針 ・個人情報保護規程
改正	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程(自転車保険加入義務、精励等特別手当など) ・非常勤賃金(最低賃金等) ・就業規則(多様な勤務条件) ・育児休業規程(時間単位取得、短時間勤務との併用可) ・介護休業規程(時間単位取得、賞与減額規定削除等) ・非常勤就業規則(リフレッシュ休暇新設、自転車通勤手当支給) 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則(特別休暇) ・非常勤賃金(最低賃金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤賃金(最低賃金)
区分	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
新設			短時間勤務職員就業規則
改正	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程(給与表別表1、短時間・固定勤務適用給与) ・非常勤賃金(月額賃金表) ・給与規程(ボーナス引上げ) ・非常勤賃金(最低賃金等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程(調整手当、職層手当、給与表別表6管理職手当、給与表別表7・8賞与支給月数、25条に定める特別手当取扱い) ・非常勤賃金(処遇改善率、最低賃金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程(給料表改定/65歳定年制導入のため昇給幅の縮小) ・非常勤職員の採用時賃金及び昇給等の内規(月額賃金基準表(別表1)を正規職員の給料表に準じて改定/時給制賃金単価の単価改定:1時間当たり100円・80円の単価増額) ・育児・介護休業等に関する規程(就学前の子どもを持つ職員に国制度に準じて短時間または固定勤務の選択可能とし、特例として小学校2年生年度末まで延長可)
廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・被服貸与規程 		

【研修関係】

(1) 法人必修研修

・法人研修計画(キャリアアップ計画)に従って職層別を実施した。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
新 任	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションのポイント ・前向きに業務に取り組むために ・参加者数 20人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛着」について ・参加者数 22名 ・法人理念「養護」について理解を深める。(既卒含) ・参加者 32名予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー(新卒) ・参加者数 12名 ・ビジネスマインド(既卒) ・参加者数 9名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー 新卒 29名 既卒 17名
一 般 (1~4年目)	<ul style="list-style-type: none"> ・若手に求められる3つのスキル ・前向きに業務に取り組むために ・参加者数 102人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛着」について ・参加者 119名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマインド ・参加者数 15名 ・ジョブクラフティング ・参加者数 22名 ・伝わる伝え方 ・参加者数 99名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマインド 参加 14名 ・ジョブクラフティング 参加 15名
一 般 (5年目以降)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育と玩具について ・保育の環境づくり ・参加者 64人予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・心地よい生活環境と子どもの自発性を育む保育 ・参加者数 66名 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーナーシップ ・参加者数 101名 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手目線で考えるコミュニケーション 参加 94名
リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる子の発達支援 ・参加者 100人予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊びを高める大人の関わり ・参加者数 76名 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォロワーシップ ・参加者数 58名 	<ul style="list-style-type: none"> ・アサーティブコミュニケーション 参加 111名
副 主 任	<ul style="list-style-type: none"> ・副主任としての役割を考える ・前向きに業務に取り組むために ・参加者数 54人 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮や支援を大切にしたい関わり/子供の育ちを支える連携 ・参加者数 56名 		<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴力向上 参加 61名
副 園 長 主 任	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心を育てる アタッチメントの大切さ ・参加者数 34人 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮や支援を大切にしたい関わり/子供の育ちを支える連携 ・参加者数 32名 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代リーダー ・参加者数 62名 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代リーダー 副園長 15名 主任 16名
管 理 職	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心を育てる アタッチメントの大切さ ・参加者数 25人 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮や支援を大切にしたい関わり/子供の育ちを支える連携 ・参加者数 25名 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職研修 ・参加者数 23名予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職研修 参加 23名

(2) 東京都・江戸川区キャリアアップ研修

・職層に応じた国の研修基準であり、法人も国基準に準拠した受講を進めた。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
マネージメント	受講者 7人	受講者 3人	受講者 11人	受講者 167人
乳 児 保 育	受講者 10人	受講者 5人	受講者 4人	受講者 135人
幼 児 教 育	受講者 5人	受講者 5人	受講者 22人	受講者 101人
障 害 児	受講者 9人	受講者 9人	受講者 3人	受講者 101人
食育・アレルギー	受講者 3人	受講者 2人	受講者 3人	受講者 59人
保健衛生・安全	受講者 1人	受講者 0人	受講者 2人	受講者 49人
保護者・子育て支援	受講者 6人	受講者 4人	受講者 4人	受講者 106人

(3) 外部研修及び園内研修等

・外部研修を活用し、時代の変化に対応したテーマの研修を実施した。

区分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
外 部 研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修(江戸川区) ・新人保育士(江戸川区) ・衛生推進者(労基連合) ・リーダー研修(私保園長会) ・危機管理(私保園長会) ・発達支援(江戸川区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修(江戸川区) ・新人保育士(江戸川区) ・衛生推進者(労基連合) ・リーダー研修(私保園長会) ・人権安全(私保園長会) ・発達支援(江戸川区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修(江戸川区) ・新人保育士(江戸川区) ・作業療法士(江戸川区) ・リーダー研修(私保園長会) ・環境(私保園長会) ・発達支援(江戸川区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修(江戸川区) ・新人保育士(江戸川区) ・衛生推進者(労基連合) ・リーダー研修(私保園長会) ・人権安全(私保園長会) ・発達支援(江戸川区)
園 内 研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・AED研修 ・嘔吐処理券集 ・不審者対応研修 ・パソコン研修 ・各園に応じた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・AED研修 ・嘔吐処理研修 ・不審者対応研修 ・不適切保育研修 ・各園に応じた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・園目標研修 ・AED研修 ・嘔吐処理研修 ・不審者対応研修 ・不適切保育研修 ・各園に応じた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・園目標研修 ・不適切保育研修 ・嘔吐処理研修 ・不審者対応研修 ・各園に応じた研修
そ の 他 研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別研修(法人) ・給食研修(法人) ・PC研修(法人) ①PC操作等 ②ウェルキッズ 操作等 	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別研修(法人) ・給食研修(法人) ・理念園目標研修法人 ・気になる子研修(区巡回・法人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別研修(法人) ・財務研修(法人) ・養護研修(法人) ・気になる子研修(区巡回・法人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別研修(法人) ・給食研修(法人) ・気になる子研修(区巡回・法人)

【財務関係】

(1) 予算計上状況

・年度分予算を当初計上し、必要に応じて過不足の補正予算を計上した。

区 分		令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
収 入	当初予算	4,707,228千円	4,614,069千円	4,674,085千円	4,944,358千円
	補正1号	29,340千円	174,538千円	129,695千円	79,520千円
	補正2号	12,633千円	60,399千円	161,747千円	170,172千円
	補正3号	14,907千円	261,160千円	331,677千円	212,845千円
	最終予算額	4,764,108千円	5,110,166千円	5,297,204千円	5,406,895千円
支 出	当初予算	4,573,724千円	4,542,732千円	4,580,325千円	4,900,166千円
	補正1号	102,978千円	305,680千円	231,570千円	50,335千円
	補正2号	56,220千円	△90,604千円	61,508千円	228,674千円
	補正3号	34,772千円	250,776千円	636,986千円	136,656千円
	最終予算額	4,767,694千円	4,955,212千円	5,510,389千円	5,315,781千円
差 引	当初予算	133,504千円	71,337千円	93,760千円	44,242千円
	補正1号	△73,638千円	△131,142千円	△101,875千円	29,185千円
	補正2号	△43,587千円	151,003千円	100,239千円	△58,502千円
	補正3号	△19,865千円	10,384千円	△305,309千円	76,189千円
	最終予算額	△3,586千円	154,954千円	△213,185千円	91,114千円

(2) 決算状況

・決算調整後に様々な分析を行い、当初予算編成や健全財政維持に活用した。

区 分	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
収入総額	4,869,254,102円	4,804,432,287円	5,156,422,258円	5,324,541,499円
支出総額	5,024,012,772円	4,675,055,351円	4,863,971,151円	5,374,745,431円
収支差額	△154,758,670円	129,376,936円	292,451,107円	△50,203,932円
実質収支 差 額	55,241,330円 ※210,000,000円 他に大規模改 205,000千円	244,376,936円 ※積立 115,000,000円	292,451,107円	319,796,068円 ※積立 370,000,000円

(3) 積立金の状況

・不測の事態や将来のため、適正な範囲で資金積立を行った。

区 分	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
前期末積立金	2,082,000,000円	2,074,000,000円	2,189,000,000円	2,189,000,000円
今 期 増 減	積立金	210,000,000円	115,000,000円	0円
	取崩し	△218,000,000円 ※3 国大規模改修工事費充当	0円	0円
今期末積立金	2,074,000,000円	2,189,000,000円	2,189,000,000円	2,559,000,000円

(4) 財務分析

・決算調整後に様々な分析を行い、当初予算編成や健全財政維持に活用した。

区 分	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
流動比率	215.4%	257.6%	303.6%	324.8%
純資産比率	83.7%	85.2%	85.3%	87.3%
人件費率	62.3%	62.4%	63.9%	65.0%
委託費率	10.8%	10.5%	10.3%	10.4%
人件費率+委託費率	73.1%	72.9%	74.2%	75.4%
固定長期適合率	87.8%	84.6%	78.5%	81.1%
経常活動収支差額率	5.3%	5.0%	5.6%	5.2%
労働分配率	82.7%	82.5%	83.0%	83.8%

(5) 仮払い・小口現金

・必要最低限な現金管理となるように各園と協議の上、改善を図った。

区 分	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	
仮払い	執行件数	185件	146件	287件	251件
	執行額	2,547,400円	2,477,023円	7,842,141円	5,104,544円
	1件単価	13,770円	16,966円	27,324円	20,337円
小口現金	執行件数	69件	51件	58件	67件
	執行額	2,846,000円	2,282,000円	2,460,023円	2,649,000円
	1件単価	41,246円	44,745円	42,414円	39,537円

【監査関係】

(1) 江戸川区指導検査

・江戸川区児童福祉施設等指導検査実施要綱に基づき全園が指導検査を受けた。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
実施園数	予定 23園 実施 23園	予定 23園 実施 23園	予定 23園 実施 23園	予定 23園 実施 23園
文書指摘事項	指摘 2園	なし	指摘 1園	なし
備考	毎月の消火訓練 毎月の避難訓練等	なし	毎月の消火訓練	法人監査にて 指摘あり 欠席継続評議員 の是正

(2) 法人巡回監査

・会計処理の適正化や財務規律の強化を図るため年2回、全園巡回監査を実施した。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
第一回目	10月3日～10月19日 対面式	11月15日～12月13日 対面式	8月27日～9月25日 対面式	7月16日～7月25日 対面式
第二回目	11月15日～12月13日 対面式	11月14日～12月12日 対面式	11月12日～11月27日 対面式	11月17日～11月21日 対面式
主な調査 内 容	・園の特長付け ・固定資産台帳等管理 ・現金等管理など	・現金等管理 ・財務諸表 ・勤務シフト等	・現金等管理 ・財務諸表 ・予算管理	・現金等管理 ・財務諸表 ・予算管理

(3) 会計監査人監査

・年1回の決算期に法定監査人である会計監査人監査を受け、評価を得た。

区分	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
実施状況	令和4年5月23日 延44日	令和5年5月24日 延44日	令和6年5月27日 延44日	令和7年5月29日 延44日
監査結果	無限定適正	無限定適正	無限定適正	無限定適正
備 考	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算

(4) 監事監査

・年1回の決算期に法人監事の監査を受け、評価を得た。

区分	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度
実施状況	令和4年5月23日	令和5年5月24日	令和6年5月27日	令和7年5月29日
監査結果	正しいと認める	正しいと認める	正しいと認める	正しいと認める
備 考				

【保育園運営】

(1) 年齢別在園児数(年度当初)

・地域の保育ニーズ、施設現況及び配置職員等を勘案し適正な利用定員を設定した。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	
利用定員	2,871人	2,837人	2,783人	2,647人	
在籍状況	1歳児	483人	476人	446人	447人
	2歳児	542人	540人	512人	503人
	3歳児	553人	550人	530人	529人
	4・5歳児	1,160人	1,131人	1,079人	1,068人
在籍児童の計	2,738人	2,697人	2,567人	2,547人	
児童在籍率	95.4%	95.1%	92.2%	96.2%	

(2) 特別保育事業(年度当初)

・課題となっている延長保育の利用者減と一時保育の再開について研究・検討を進めた。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
延長保育	201人	187人	164人	293人
一時保育	休 止 中			

(3) アレルギー食と宗教食

・医師の指示書により適正な提供を心掛けた。

(注)カッコ内は在籍割合

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
アレルギー食提供	83人(3.03%)	84人(3.11%)	72人(2.82%)	61人(2.45%)
うち弁当持参	1人	0人	0人	1人
宗教食提供	14人(0.51%)	21人(0.78%)	17人(0.67%)	13人(0.51%)
うち弁当持参	4人	3人	7人	15人
計	97人(3.54%)	108人(4.00%)	96人(3.76%)	90人(3.53%)
投薬のため除去提供	1人	1人	1人	2人
家庭の事情	0人	0人	0人	0人
障害児(ダウン症)	0人	1人	2人	3人

(4) 障がい児保育と気になる子

(注)カッコ内は在籍割合

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
障がい児(認定児)	73人(2.67%)	72人(2.67%)	84人(3.27%)	73人(2.86%)
気になる児童	67人(2.44%)	127人(4.71%)	121人(4.71%)	56人(2.19%)
計	140人 (5.12%)	199人 (7.38%)	205人 (7.98%)	129人 (5.06%)

(5) 第三者評価と利用者調査の実施状況

・3年毎に第三者評価、利用者調査は毎年実施し、保育の質の向上を図った。

区分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
第三者評価	7園	5園	11園	7園
利用者調査	16園	18園	12園	16園
平均満足度	92.9%	93.2%	94.0%	95.3%

(注)満足度は、5段階評価の「大変満足」と「満足」を加算した率

(5) こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)の実施

・令和8年度より国の給付事業として全国展開される「誰でも通園制度」を4園で実施するため、認可及び確認申請を行った。(事業開始は令和8年6月を予定)

- ①実施園 4園 (葛西・東小松川・鹿骨・小松川)
- ②実施方法 一般型(専用室独立型)
- ③定員 4名 (1歳:2名 2歳:2名) ※各園共通
- ④利用枠 平日の午前9時から午前11時30分
- ⑤利用形態 定期利用(原則として利用可能分すべてを本園で使用)
- ⑥職員配置 保育士2名(おひさま保育園経験の正規職員)

※今年度の利用状況、予算収支など総合的に勘案し、今後の事情展開を検討していく。

以下、必要に応じて追加・修正・削除をしていきます。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	18人	23人	28人	25人	26人	120人
年度末在籍数	18人	23人	27人	25人	26人	119人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

・日常生活の中で子どもがやってみたいや挑戦する気持ちを大切に環境を整え保育を進めた。自ら絵本や図鑑を見て調べ園庭の木々にや草花や虫等を見つけ、知らせ共有していた姿が見られた。

・絵本の世界観を表現出来る事を遊びとして取り入れ、その役になり、遊びの続きを発表会に繋げ小道具作りは、自らの発想や思いを保育士に伝え材料選び等楽しんで行うことが出来た。

・保護者との信頼関係に関しては限られた時間の中、コミュニケーションをとる時間の確保が出来ず、保護者との関係作りの難しさを感じた。

・安全管理については、ヒヤリハット等関係する情報を職員で共有し、衛生、安全管理をしたことで、大きな問題は起こらなかった。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

・日常生活の中で、子どもが「わくわく」「やってみたい」事を実現していく環境を整える。(すくわく)

・毎日の生活の中で、職員の言葉がけの研修を行い、子どもたちと一緒に考え、行動出来るように子ども中心の視点を置く会議を充実する。

・常に保育の振り返りを見直しを行い、新しい事に挑戦する事の大切さを理解出来るよう考える。

・保護者との信頼関係を築けるよう、忙しい中でも保護者一人一人に共感できるような言葉がけを、丁寧に行う。そのために、職員間の情報共有を徹底する。

・防災防犯、不適切保育等の研修や、保育室の安全の為に環境設定を徹底する。ヒヤリハットや怪我の報告等を共有して原因等を話し合う。

3. 職員の育成と離職防止

・気持ちよく働けるように、シフト勤務交代など、均等に全員が把握理解出来るようにした。

・休憩時間を確保出来るよう職員全体で工夫して取るようにした。

・保育を、全職員が協力、相談しながら進めた、保育観や保育の質に関して園内研修や意識や自覚を持つ事等の指導し質の向上に努めた。

4. 利用者アンケート 評価と改善

「園での活動は、子どもが興味や関心をもって行っているか」「子どもの成長を伝えて下さるのでありがたい」「先生方のお声掛けのおかげで、家でも頑張ろうと言う気持ちになります」等、85%から95%と高評価を頂いている。一方「他職員によって挨拶の差がある」と言った回答も少なくなかった。挨拶や伝達事項、保護者対応を職員間の意識の共有し育成に務める。又、「法人理念や保育目標を説明会に聞いたようだが覚えていない」等の回答があり保護者会等で工夫して、法人の理念や保育について周知する工夫を知る必要を感じる。

5. 職員アンケート 評価と改善

10年前後の経験年数の職員が多い為、対応力があり連携を取り職員同士で声を掛け合い親睦を深められていて職員の間が円滑であり、気軽に相談し合いながら、子どもに応じた保育を検討している。業務体制においても問題に対して、改善出来るように話し合いが行われている。研修を受ける機会を多く、居心地の良さ自分らしく保育が出来るとの回答がほとんどだった。

改善点として、保育の環境構成において、職員同士の共有に難しさを感じる。行事の内容ややり方活動について共有できていないことがあった。支援が必要な子の対応に対して、しっかりついてあげることが出来ない等が上がっていた。保育の取り組みに対して、全ての職員が把握出来るよう対策をしていく。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	20人	20人	20人	20人	20人	100人
年度末在籍数	20人	20人	20人	21人	23人	104人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

・乳児がすくわくプロジェクトに参加し、他クラスの職員との情報の共有を行うことで、子どものやってみたい気持ちに気づき、職員も楽しんで考え、保育を行うようになった。結果、法人のわくわく写真にも選ばれた。

・ハッピーデイと称して、異年齢交流を積極的に設け、子ども達の刺激となり、遊びのレパートリーが増えた。幼児クラスの職員間の会話にも、いろんな目線からのアドバイスが飛び交うようになった。

・子ども達の、自主的な発言や行動力が育まれて行く反面、トラブルになることもあり、状況に応じた支援と保護者との情報の共有、そして理解に繋げることの大切さを感じた。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

・保育のフィードバックを心掛け、状況に応じた対応をしていく。

・職員同士で意見を出し合い、専門知識を伝え、協力して支援ができるようにする。

・引き続き、異年齢交流の場をもち、様々なアイデアを出し合い保育の幅を広げていく。

・年長児だけでなく、他年齢児も地域交流をし、近隣施設にも積極的に関わりをもっていく。

・日々の保護者とのコミュニケーションを持ち、悩みを相談しやすい環境を作り、解決策を考えていく。

・子ども達の園での様子を保護者と情報共有し、積極的に働きかけていくことにより園での取り組みへの理解や協力を繋げて行く。

3. 職員の育成と離職防止

・働きやすい環境は職員が自らが努力し考えた。引き続き、発信しやすい環境づくりに努める。

・失敗を恐れ過ぎない雰囲気を作り、目標に向け試行錯誤し、成功と失敗を楽しみ成長に繋げていく。

・今、置かれた状況を冷静に判断し、その中で自分にできる最善の行動を選び取る力を育む。

・遊びや声かけ、課題への対応方法など多様な引き出しを増やし、限られた条件の中で、工夫しながら子どもにとって最適な環境や関わり、職員間の連携を生み出す力を育てていく。

4. 利用者アンケート 評価と改善

・子どもを大切にされた職員の保育に、保護者から数多くの満足の声があった。

・全保護者対象で給食試食を行ったことで、保護者の給食への理解や安心感につながった。

・避難訓練や地域交流の理解が少ない為、取り組みに工夫が必要。

・送迎時に担任からの声かけはあるものの、園での様子が保護者に十分に共有されていないとの意見があった。短時間でも具体的なエピソードを一言添えられるような対応ができるよう、園内研修など行っていく。

5. 職員アンケート 評価と改善

職員間で課題を共有し話し合い、失敗も成功も楽しむ様子がみられ、連携を大切にすることで、情報共有がスムーズになり、職員が協力しあえているという意見が多かった。また、保育の統一性が生まれたように感じる。保護者からの評価も高く、その結果が達成感にも繋がったようだった。

正規職員と非常勤職員の保育感のズレが生じた場面もあった為、情報共有を徹底していけるよう工夫していく。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	17人	22人	24人	23人	24人	110人
年度末在籍数	17人	22人	23人	23人	24人	109人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・園目標の具体的なポイントを再確認し合った。
- ・クラス会議の内容を見直した。
- ・すくわくプログラムの実施やワクワクデーの開催により、職員もワクワクしながら保育を進めた。
- ・リーダー会議とクラス会議を充実させ、園内の困りごとや共通理解については、リーダーからそれぞれのクラスの職員に周知するよう整えた。その中で、職員によって保護者対応が異ならないよう、丁寧に進めた。
- ・子育てひろばの担当を固定し、参加者が相談しやすく安心出来る環境を整えた。
- ・ヒヤリハットの共有を徹底し、危機管理意識を強化した。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・保育目標のポイントの確認で終わってしまったため、目標達成の為に保育の中にどのように取り入れていくか具体的な内容を話し合い、振り返りをしながら園目標を今以上に浸透させていく。
- ・クラス会議の内容を見直し、クラス内の環境に重点を置いて進めた。子どもの様子に合わせた環境にその都度変化し、記録に残せたことはとても良かった。引き続き、クラス会議を充実させていく。
- ・保育の中で最も大事にしたい「職員の言葉選び」について研修を行い、子ども、保護者、職員が心地よく過ごせる対話を身につけることで、「伝わる」を丁寧にしていく。
- ・引き続き、ヒヤリハットの共有を徹底し、危機管理の意識を高めていく。

3. 職員の育成と離職防止

- ・職員の担当を再検討し、担当チームを作った。チームで園内研修や係分担が出来たことは、研修等が充実しスムーズで良かった。
- ・朝礼や昼礼、また休憩中等に保育中の子どもの姿を伝え合い、笑いの多い時間を共有出来たことは、良いチーム作りに繋がっていると感じる。子どもや保育の事で、保育園内でのチームがまとまった事で、離職防止となったと感じる。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- ・昨年度よりも評価が高くなり、特に「保育所での活動は、子どもの心身の発達にやくだっているか」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「病気やケガをした際の職員の対応は信頼できるか」で満足度が高かった。全職員が丁寧に保護者対応が行えた結果であると感じる。園内の情報をしっかり職員間で共有しながら、今以上に丁寧な保護者対応を行っていく。

5. 職員アンケート 評価と改善

- ・特に改善したいと思う点の回答数が少なく、内容もすぐに改善できるものだった。また、良い点は多くあり、職員も小さな改善点はあるものの、充実した仕事が出来ていると感じる。
- ・2名の職員が途中退職をしたため、かなり職員数が厳しい状況ではあったが、その事で職員が団結し、連携を取りながら一年を終えることが出来た。引き続き、職員の声をしっかり聴きながら今のチームワークをキープしていきたい。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	22人	25人	27人	28人	28人	130人
年度末在籍数	22人	25人	27人	25人	28人	127人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

・3つのところに寄り添い保育を進め、毎月の振り返りでは「わくわく写真」を用いて子どもの声や保育のポイントを共有した。全職員で他クラスの活動や環境の工夫について刺激を受けた。

・「すくわくプログラム」で「木」をテーマにカプラを中心に、クラスを超えて楽しみ、保護者や見学者へも活動の様子を周知し、保育内容を分かりやすく伝えた。

・副主任以上の役職のあるリーダー層を中心に「自ら学ぶ園内研修」を実施した。BCP、SIDS、人権等、様々なカテゴリーを学び、園内で学ぶからこそそのズレの無い共有が図れた。

キャリアアップ研修も時間を確保し積極的に受講した。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

・共有事項を増やし、他クラスの状況も理解を深めたが、転倒による口内を負傷する事故が多かった。

・事故予防も含め、子どもの体幹に力を入れ、保育内容の充実を図る。すくわくプログラムでは「からだ」をテーマに、運動、食育、自分の体のしくみ等様々な方向からアプローチし、興味を引き出したい。

・地域の拠点として「誰通」を実施し、子育て支援に力を入れていく。

・小学校連携も深まってきているので、より充実した取り組みとなるよう連携を図っていく。

3. 職員の育成と離職防止

・キャリアアップ研修の充実で専門分野に積極的に自己啓発が出来た。スキルアップのために、専門分野リーダーとして活躍できる場を設けていく。

・休暇、休憩、研修時間は協力体制で確保できている。急な体調不良時の協力体制も、皆でカバーする風土が構築され、風通しの良い雰囲気の仕事が進められている。引き続きチーム力を上げ、個々のスキルアップと支えあう関係作りをしていきたい。

4. 利用者アンケート 評価と改善

・職員が元気で明るく、全園児の事を把握してくれる安心感を感じられているようでうれしく思う。「いろいろなことをアップデートして、改善する姿が見受けられる」などの声があり、園の伝えたい思いを汲んでくださる保護者が多く、良い関係が築けていると感じる。

・送迎時の伝達などは職員により偏りがあるので、引き続き指導していく。

5. 職員アンケート 評価と改善

・概ね園内研修、キャリアアップ研修の充実を感じている。自信をもって業務にあたるために、毎年時間を確保して、平等に学べる機会を確保したい。

・遊具の充実が図られ、保育内容に合わせた物を用意できたことには充実の声があった。

・園内の空気や協力体制、休暇、休憩等の満足度は高いが、業務内の書類の作成については課題が見えた。時間の確保について工夫をしたい。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	22人	25人	27人	28人	28人	130人
年度末在籍数	22人	24人	26人	25人	24人	121人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・子どもの心の動きを読み取ることを目標に、子どもと共に遊ぶ中で、何に興味をもち何に心が動いているのかを読み取り、言葉にしたり気持ちを共有した。
- ・子どもの人権を守ることを目的として、ねらいや目的を明確にして、活動や生活に取り組んだ。
- ・現在の保育力に満足せず、常に保育の向上に意識をもった。
- ・危機意識を常にもつ為に、保育室の危険箇所や玩具について確認し、子どもの姿に合わせた環境の見直しを行った。
- ・戸外遊びに限らず常に災害を意識した子どもの人数把握に努めた。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・人権については日常保育の中で、子どもの意思や選択を十分に尊重できていない場面もあり、一方的な指示や否定的な言葉がけの様子もあった。子どもの人権擁護の視点を一層明確にするため、職員会議や園内研修の中で具体的な事例を用いた振り返りを行い、望ましい言葉がけや関わり方を共有し、継続してセルフチェックリストも実施していく。
- ・職員一人一人の危機管理意識にはばらつきがあり、危険予測や声かけが不十分な場面がある。ヒヤリハット事例の共有も十分ではないため、今後は職員全体の危機管理意識を一層向上させることを目的として定期的な報告の場を設け、危険予測や事故防止に関する共通理解を深める。散歩コースの危険箇所とAED設置場所の確認と共に、不審者対応等、緊急時の際の具体的な行動手順についても確認し合い、園外活動の緊張感や危機意識が職員全体で高まるようにしていく。

3. 職員の育成と離職防止

- ・子どもの人権と安全を守る専門職としての自覚をもち、現状に留まることが無いよう、園内研修の充実を図った。
- ・離職防止の柱として休憩保障と有休休暇の取得があるが、クラスの人員状況によっては十分な休憩時間の確保が難しい場合もあり、今後の課題。有給休暇についても周囲への遠慮などから取得しにくいと感じる職員もいるため、安心して休暇を申請できるよう早い時期に年間の休暇計画を立て、お互いが気持ちよくサポート体制を取れる、働きやすい環境を整えていく。

4. 利用者アンケート 評価と改善

満足度が90.4%、総合的な満足度は高い水準である一方で、職員による保護者への連絡、説明、相談対応については差異があり「具体的に伝えてくれる方もいれば、元気でしたしか言わない方もいる」といった指摘も受けた。こうした意見を真摯に受け止め、職員間での情報共有や対応の統一を図り、保護者がより安心して相談できる体制づくりに取り組む。

5. 職員アンケート 評価と改善

保育サービスに対する保護者への対応、発達に応じた保育、給食、子ども達のプライバシー保護の徹底がしっかり取り組まれているという結果となった。一方人材育成、職場定着に向けての取り組みは薄く、法人や園としての取り組みが理解されていないという結果であった。取り組みに対する周知や説明が足りていない表れ、昼礼や職員会議で丁寧に知らせていく。自由意見として、経営層と現場とのコミュニケーション不足ととらえられる意見が多かった。風通しのよい関係性が築けるように職員の思いを聞き取る機会を増やしていく。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	20人	20人	20人	21人	22人	103人
年度末在籍数	20人	20人	20人	21人	22人	103人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・保育重点目標である「目の前の子どもの姿をとらえ向き合う」を共有し、各年齢で成長や興味に応じた環境設定を行った。「わくわくでー」を通し、遊びや遊具、遊ぶ場を自ら選択する機会を設け異年齢交流も促進した。
- ・すくわくプログラムに参画、一定の成果があったが次回への課題も残った。
- ・夏季の水遊びで、安全マニュアルに沿って暑さ対策を実施したが、対応に苦慮する場面もあった。
- ・絵本貸出は、82家庭中43家庭が利用し、延べ935冊の貸し出しを行った。おすすめ絵本のポップや陳列、詩の掲示、人形や季節物の展示などで親子が立ち寄りやすい環境を整えた。
- ・保育参観で給食試食も含め、保護者が参加しやすい形にし、園内に保護者がいる機会も増え子どもの成長を共に喜べる関係作りに繋がった。
- ・子育てひろばには地域から100家庭近くが参加した。
- ・江戸川区の公開保育や研修参加は、職員の協力で予定通り実施した。

2. 総括を受けて改善 ※上記1.を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・保育目標について、保護者向けのお便りなどでの発信を強化する。
- ・日常保育に加え、すくわくプログラムや、わくわくでー等機会を活かし、職員同士が学び合いながら保育の質の向上を図る。
- ・暑さ対策は、環境整備を進め、安全に保育が行える方法を検討する。
- ・絵本コーナーの活用や保育士体験の理解を深め、保護者と共に子どもの成長を喜び合える関係を深める。
- ・子育てひろばの内容を充実させ、入園に繋がるよう、様々なシステムを利用し積極的に案内する。
- ・園内研修では、安全計画に加えキャリアアップ研修を受講した職員のフィードバックを中心に知識を深める。

3. 職員の育成と離職防止

- ・階層に応じた法人研修、キャリアアップ研修を積極的に受講し、知識向上を図った。
- ・外部研修を通じて新たな視点を取り入れる姿勢が見られた。
- ・主任等ミドルリーダーをファシリテーターとし、会議を運営し保育の実践の気づきを深めた。
- ・職員の体調不良や困り事には、日常の会話を大切に、話しやすい雰囲気作りと傾聴を心掛けた。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- ・満足度は、大変満足54.2%、満足41.7%合計95.9%の結果だった。
- ・「園での活動は子どもの心身の発達に役立っているか？」との問いでは100%が肯定。
- ・一方、「子ども同士のトラブルがあった時の職員の対応の信頼性」では、どちらともいえないや非該当が9名
- ・改善策として、職員間の情報共有、メモの徹底、夕方の体制強化等協議する。
- ・今後も保護者との関係性を重視し、コミュニケーションを丁寧に行う。

5. 職員アンケート 評価と改善

- ・PCの不具合、水遊び時の課題などの意見があがった。
- ・休憩、ノンコンタクトタイムには改善の余地があり、昼礼の時間配分徹底、昼礼日誌の記入、休憩を意識した助け合いを確認した。
- ・休暇取得については、クラスでの保育の工夫や子ども中心の視点を大切にし、補い合う体制を考えていく。
- ・職員がリフレッシュして保育に臨めるよう、皆で助け合い、諦めずに工夫する姿勢を再確認する。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	22人	25人	31人	31人	31人	140人
年度末在籍数	21人	25人	29人	31人	25人	131人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・生活する中での社会性の始まりとして、子ども達に挨拶の大切さを伝え、登降園時や給食、専科活動などの節目となる場合には必ず挨拶を行うようにした。
- ・これまで個人面談においては、家庭と保育園の生活の様子を話してきたが、生活面や成長の変化を具体的に伝えるように進めた。
- ・安全対策として、保育室や園庭での危険個所を保護者にも伝え、修繕内容や今後の使用方法を確認しながら進めることで、保護者と一緒に子どもの安全と安心に繋げることができた。又、ウエルキッズにて不審者情報などの配信を都度行い、注意喚起を行った。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・保育目標である「ありがとうのころ」を普段の生活の中で理解し、自然な形で感謝の気持ちや生活の中での挨拶が言葉や態度で表現できるよう促していく。トラブルが発生した場合は、現状の把握と双方の思いや行動を理解し納得したうえで「ごめんなさい」が伝えられるようにする。
- ・保護者に、保育目標が浸透するよう、個人面談などで保育園での様子を伝えると共に、子どもの「ころ」の成長内容を伝えていく。又、家庭と保育園での生活スタイルを確認しながら、子ども達の活動内容に繋がられるよう進めていく。
- ・保育園が安心安全に過ごせるよう、保育園側からの情報発信や、保護者等からの地域情報を共有し、安全対策に努める。

3. 職員の育成と離職防止

- ・新規採用職員は、特に個別配慮の必要性を強く感じた。メンター制度の取組においても、対象職員が保育に対しての喜びや楽しさ以上に、初めての保育業務の負担が大きく感じていることに対して、フォローが薄かったことを反省し今後に繋げたい。
- ・年度初めに、全体会議の回数を増やし、異動職員への説明や在職職員を含めた確認を行ったことにより、対応方法による差異が軽減された。
- ・主任副園長のクラスや職員への関わり方で、どうしても仕事の偏りがみられたため、業務内容の見直しを行ったが、各々の意識の改善が必要である。

4. 利用者アンケート 評価と改善

アンケートの回収率が減り7割を下回ってしまった。中でも、満足度は98.6%と高い評価をいただいた。その中で、子ども同士のトラブルについてのコメントがいくつか記載されている。トラブル内容や対応について、双方の保護者へ伝えているが、家に帰ってからの子どもの話と異なった場合、改めて説明を求めてくるケースがみられた。トラブルの対応時に、原因とその後の行動をしっかりと把握し、お互いが理解できるようしたい。

5. 職員アンケート 評価と改善

職員から、土曜日や早朝夕方の登降園時間について、保護者ファーストになり、職員の負担が多くなっているとの認識がみられる。保護者の状況が深く理解されていないケースも多く見られ、必要に応じて説明を行い職員の理解が得られるよう努めていく。又、職員の思いや考えを伝えられる雰囲気や環境がまだ整っていないと感じられるコメントもあり、職員会議やリーダー会議などで職員の声を救い上げられるよう進めたい。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	18人	18人	18人	18人	22人	94人
年度末在籍数	18人	18人	18人	18人	22人	94人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・日常の生活の先に行事を置き、プロセスこそが学びであることを意識し取り組んだ。やりたくない気持ち、取り組んだら楽しかった、出来るようになった等心の動きにも丁寧に寄り添った事で気持ちを受容してもらう安心感の中で自分らしく自己表現が出来るようにした。
- ・日々の保護者へは、日々の出来事だけではなく、写真から読み取れる心の動き等、文章で伝え年齢による発達も交え日常を知らせた。
- ・子育てひろばへの保育ママの参加が定着した。参加者との関わりもあり育児不安の解消へと繋がっている。
- ・ヒヤリハットから改善を繰り返し、大きな怪我なく1年を終える事が出来た。嘔吐研修は職員からの声で複数回実施。感染を防ぐことができた。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・受容の先にある、やってみようという気持ちをどう引き出していか、子どもの内面を意識した保育をしていく。子どものやってみようを応援できる環境設定、すくわくプログラムも昨年に引き続き取り組んでいく。
- ・子どもの成長を共に喜び合えるようにする。親が子の姿を知る機会を増やす。(保育参観・個人面談)保護者会の内容の充実。参加してよかったと思える場であるように計画する。地域支援では子育てひろばの周知方法、内容を検討し、参加者を増やしていく。
- ・安全計画に基づいて安全に関する園内研修をより踏み込んで行う。職員各々が担当する項目を持ち、受け身的な研修ではなく自身が安全管理の当事者となり危機管理への意識を高められるようにする。

3. 職員の育成と離職防止

- ・新採の指導内容を統一し、差異が出ない様にした事で指導する側、される側の負担が軽減した。
- ・働きやすい職場作りとして「話そう」を目標にし、職員同士年齢や経験に関係なく雑談から保育、運営の話ができる雰囲気を作り仲間の様子を感じ取り共有することで負担が増している職員を察知し、改善に向け早めの対応ができた。
- ・キャリアアップ研修を職層別に受講、法人必須研修に全員が参加、職場における自身の役割を学ぶ機会を与えた。研修をいかし、園内での自身の立ち位置を確認する事が出来た。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- ・アンケートの回収率65.5%高い関心が伺える。評価の高い項目として保育内容、給食、子どもが大切にされているが高評価。子ども達が、毎日楽しく安心して過ごせているとの意見。
- ・おたより、掲示を増やし、保育内容への理解を深めている成果だと感じる。評価の低い項目として外部との関わり、降園時の伝達が少ないとの意見。勤務の関係で担任が対応できない事もある為、職員間の連携を密にし必要な伝達に加え雑談も含めた会話を心がけ、職員全員で保育を行っているという思いも伝わるようにしていきたい。

5. 職員アンケート 評価と改善

- ・評価の高い項目として保育内容、個人情報保護等の規定の順守があがった。保育向上に努め、また法人の規定を理解し遂行している。評価の低い項目としてリスクマネジメント災害等のリスク対策。BCP等含め職員と危機意識を高め取り組む事が出来ていなかった。
- ・自由意見では職員間の連携が取れ、横の繋がりが強固になった。困りごとを皆で解決しようとする姿勢がある等職員間のチームワークが向上。結果として休暇の取得もUP、働きやすい職場を職員が作り出していると感じる。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	20人	24人	25人	23人	25人	117人
年度末在籍数	20人	24人	24人	22人	25人	115人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

・一人一人の思いを丁寧に受け止め、具体的な言葉で伝えていく事で安心感や自分は大切に守られているという自己肯定感に繋がった。又、職員が見本になり、挨拶や思いやりのある言動を日常的に示していく事で、子ども達も自発的に行おうとする姿も見られる様になった。

・保護者におたよりやブログ等で、子どもの育ちや保育園について丁寧に発信し共有した事で、信頼関係構築に繋がった。

・子育てひろばは、より保育園という場所を知り、我が子の入園が想像出来る様な内容を考え、リピーターも増え、地域支援の場として機能する事が出来た。

・事故、怪我、ヒヤリハットがあった時に、クラス会議やリーダー会議等で、意見を出し合い、子ども達にとってより良い環境になる職員配置、環境設定等の検証、振り返りを行い、都度改善策を考え実行した。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

・挨拶や「ありがとう」「ごめんなさい」等、職員の促しや声掛けを必要とする子どもが多く、習慣化が出来ていないのが現状である。自分の思いを表現し、相手の気持ちを考えられる様、子ども一人一人の気持ちに寄り添いながら、心のこもった保育を行っていく。

・信頼関係を深めていくために、保護者の対応は迅速かつ丁寧にいく。

・保護者から保育園の良さを外部に発信してもらえるような、魅力ある保育プログラムを考える。

・子育てひろばの内容を充実させ、保育所体験の機会も増やし、地域支援の場として確立させていく。

・職員一人一人が危機管理能力を高められるよう、園内研修を充実させる。

・安全管理に関して、職員が発信し易く、情報共有出来る時間を昼礼等で設定し、意識を高めていく。

3. 職員の育成と離職防止

・自己申告シートや面談を通して、職員が自分の立場や目標を意識する機会になり、働く意欲維持に繋がった。

・職員の個別事情への配慮は可能な範囲で対応する事で、安心して働ける職場環境になっている。

・職員の保育に関する提案や体制やシフトに関する提案は職員全体で検討し、決定して進めた。また有休や休憩には皆が平等に取得出来る様に、協力体制で回していける様心掛けてた。

・一人一人のスキルに応じた業務分担を行い、自分で考える事を意識する様に進めた。結果に対しての振り返りも都度行い、やりがいを感じ、達成感と共に向上心にも繋がる様配慮した。

4. 利用者アンケート 評価と改善

・子どもの様子に関する伝達がいつもない。また職員によってもばらつきがあることについて、クラスでの引き渡しでは勿論、当番の時間でも必ず様子を伝える「一言」を心掛ける。又声掛けをする際は他児と比べる言葉やプライベートな内容に触れる際の環境や言葉選び、話し方に十分注意する。

・安全対策については、玄関の開けっ放しや、保育園前の駐車、駐輪場で遊んでいる児が危険が姿があるので、保護者会やWEL-KIDSおたよりの配信、掲示や声掛け等を行い、保護者に協力をお願いした。

5. 職員アンケート 評価と改善

・情報共有として、職員同士、経営層とのコミュニケーションが増え、情報共有の質と頻度が向上した事で、業務の見通しが立て易くなった、またそれが的確な保護者対応にも繋がっている。今後も一人一人が「報連相」を重視し、情報共有しながら保育を進めていく。

・意見を出せる環境作りを行う為に、会議等において、意見を出す職員に偏りがある為、又発言しづらい状況もあるので、職層毎の会議や個人が意見の出し易い環境や方法等を取り入れ、風通しの良い職場環境を目指す。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	27人	30人	31人	31人	31人	150人
年度末在籍数	28人	31人	28人	27人	32人	146人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・園児、保護者に対して積極的に挨拶を行い信頼関係を築いた。また、毎月の職員会議の中で人権擁護の子どもへの声掛けを確認し合った。そして、猛暑が長く続き散歩や園外活動(自然物へ触れる)が少なかった。
- ・各クラス前に季節の制作物、活動内容等を降園時に見て頂けるよう展示や掲示を積極的に行った。また、子育て家庭や見学者、子育てひろばを丁寧に対応すると共に他園との交流も深めた。
- ・個人情報については職員の危機管理意識が薄く、書類の扱い方の煩雑さや写真の掲載等でのミスが目立った。また、備蓄品等の整理整頓を行い環境と整えた。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・園児、保護者へ引き続き積極的に挨拶を行い信頼関係を気づくと共に人権擁護への意識を高めていく。又気温等を考慮しながら、散歩や園外活動が出来る時は積極的に実施していく。
- ・積極的な展示や掲示など見える化を行い保護者へアピールしていく。又公共施設や店舗に行き、社会との関りを深めていく。
- ・職員一人一人の「個人情報」「防災、防犯」への勉強会や研修会等への参加を通して危機感を持たせていくと共に確認の大切さ(確認する側の責任含)を更に伝えていく。

3. 職員の育成と離職防止

- ・職員育成として、保育のプロとしての意識(自覚と責任)を高め、反省や後悔をしない様に情報提供や日々の話し合いの中で伝えていた。また、常に150名の園児達を全職員で保育を進めていく事を伝え、他クラスに関わる時間を設けた。
- ・職員への指示等に対しては理由や目的等を丁寧に説明し納得感を持たせる。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- ・「施設内の清掃、整理整頓」の満足度が低かったため、全職員で対策を考え「5S(整理.整頓.清掃.清潔.躰)」の強化を徹底いく。また「身近な自然や社会への関り」については、散歩や園外活動等を積極的に実施する計画を立て、保護者への実施アピールも行う。
- ・アンケート回収率が45.5%で低いため、回収率が更に上がる様に保護者へ積極的に呼びかけていく。

5. 職員アンケート 評価と改善

- ・全職員が協力し合い保育を進め、積極的に保護者への声掛けを行い信頼関係を深めた。また、保育士不足や有休の取得等で毎日の勤務体制が厳しく休憩が取れない事もあった。
- ・施設、設備等の老朽化が進み買換えする物もあった。今後も全職員で協力し合い、共通の理解のもと働きやすい環境づくりを更に目指していく。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	17人	20人	23人	25人	25人	110人
年度末在籍数	18人	20人	23人	25人	25人	111人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

・子どもの好奇心が、わくわく、どきどきしながら遊びに向かう姿が多くみられ、主体的に遊びを選び挑戦しようとする気持ちが育っている。その姿を月末にまとめ「わくわく写真」としてを保護者と共有することができた。

・すくわくプログラムでは、各クラス子ども達がじっくり遊びこめる環境を作り、子どもも職員も夢中になって楽しみやってみようのところが満たされている。又熱帯魚を通して生き物を飼育する大変さや命の大切さを感じることで引き続き継続していく。

・栽培物を育て収穫し、カレー、味噌汁等のクッキング活動を行い、野菜を育てる大変さや、美味しい給食を調理してくれる厨房職員への感謝の気持ち等、ありがとうのこころ・かんじるこころが育ってきている。

・施設整備として、1歳児の床暖房設置、温便座設置。園庭照明器具、室内LED照明更新。熱風食器保管庫更新を行った。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

・登降園時の声掛けや日々のやり取りを大切に、子どもの小さな変化に気づき保護者へ丁寧に伝え、保護者との信頼関係を深め家庭との連携していく。職員の力量は個々に差はあるが、統一した対応が望ましい。

・子どもの興味発達に応じた、環境構成をクラス間で共有し園全体で統一した質を確保する。(玩具の見直し)

・毎月の安全点検を継続し、危険箇所を把握しすぐに対応する。点検は実施出来ているが、安全かどうか点検後は必ず報告する。保育室の玩具の確認や季節ごとの入れ替え、園内の整理整頓に心がける。

・子育てひろば保育所体験のリピーターを増やすよう、利用者に直接どんな内容だったら遊びに来たくなるのかアンケートや、生の声を聴きヒントを得てプログラムを工夫し、入園につなぐ努力をする。

・引き続き保育の質を高めていけるよう、園内研修を行い、全職員知識や共通理解を高めていく。

3. 職員の育成と離職防止

・新規職員に対して気の合う先輩職員が相談役となり、悩みを気軽に話しアドバイスをを行う場を作り寄り添った。担当する職員の負担が大きい部分もあり、職員の変化にいち早く気が付ける体制を整える必要を感じる。

・毎月の有給取得について、平等に取得出来るよう声をかけるよう配慮、休息時間の確保につとめた。

・職員の負担軽減につながる、サポート体制や職員同士で気軽に話し合える時間を確保し、保育園の雰囲気高める。職員の心身の変化にすぐに気が付きみんなで共有し早めに対応を心掛ける。

・すべての業務について、効率化していいものとそうでないものを振り分け見直しをしていく。

4. 利用者アンケート 評価と改善

・保育園に対する満足度は97.1%あり、どちらともいえないが2.4%で不満はなかった。すべての対応が丁寧で、日々の様子も伝達して頂き感謝してるとの評価をいただく。今後も継続していけるよう心掛けていく。

・環境面で、雨が降った翌日床が砂だらけの意見があり、細目に清掃するよう心掛けた。

・職員によって伝達が無い場合もあるとのことで、全職員に改めて一人一人丁寧な対応をするよう周知した。

・終礼等で、各クラスで些細な事、保護者からの要望等、全職員で共有し改善できるようにしていく。

5. 職員アンケート 評価と改善

・園内研修を年間を通し実施。今年は更にキャリアアップ研修、他研修機会を積極的に進めてくれ学べた。

・各クラスの休憩の取得について、園全体で協力しあえて助け合いが出来た。

・経営層と職員との関係性がぎくしゃくする時期があった。様々な考え方や思いが伝わらない事もあると思うが、コミュニケーションを多くとり改善をしていく。要望や不満等はあると思うが、一つずつ職員会議等で話し合いを深め園全体で解決できるように心がけチームワーク強化に努めていく。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	20人	22人	25人	25人	26人	118人
年度末在籍数	20人	23人	23人	25人	26人	117人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- 一人一人の発達を職員で共有し、支援が必要な子を含め、園全体でのチーム保育に努めた。
- 遊びや生活を通して、子どもの視線の先を大切に「わくわくの種」に共感し、やってみようのところに繋げることができた。
- 保育参観、保育参加、個人面談、日々を通じて子どもの育ちを保護者と共有に努めた。保育目標が保育にどうのような形で取り入れられているかの共有を今後も深めていく。
- 子育てひろばを通して保育園の見通しが持てることで入園に繋がった。
- 避難訓練だけでなく、防災無線も実地と捉え、訓練を実施する等職員間の意識にも繋がった。
- 安全点検及びヒヤリハットを通して、昼礼、会議で振り返りを行い、安全管理に努めた。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- 全職員が子どもの育ちを共有し、保護者、小学校等、関連した機関と連携したチーム保育の実施。
- 子どもの探究心に着目した保育実践(すくわくプログラム)
- 基本理念、保育目標を根底とした保育理解への活動及びPR
- 子育てひろばを通して、保育所体験及び保育園生活の見通しが持てる内容の実施。子育てひろばを、より地域に認知してもらう為の対策を考える。
- 安全管理の意識向上及び、防災・防犯に備えた訓練実施とPDCAを行う。
- 安全対策の重要性及び災害時による、自助、共助、公助の重要性を踏まえた地域連携。

3. 職員の育成と離職防止

- 研修の充実、職員同士の学び合いの場づくり等による保育の質の向上。
- 職員同士の強みと弱みを共有し、働きやすく、支え合える職場環境づくり。
- 新規採用職員、異動職員との交流の場及びフォローアップ等の環境づくり。
- 付箋会議等、誰もが意見を伝え合える会議を実施した。
- 風通しがよく、個々の思いや意見を伝え合える環境づくり。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- 大変満足、満足の合計が97.9% 回答者割合44.4%回答者の割合を上げる対策を実施
- 主体性、受容的応答的保育に関して、気象状況による、暑さ対策による保育の工夫に関する高評価を頂いた。
- 気象状況による散歩、水遊びに関する改善のご意見あり。
- 園庭における暑さ指数、気温の公表、他園との保育環境の違いによる、暑さ対策についての保育活動を理解してもらえる取り組み。
- 引き続き、保護者会、日々の配信等による基本理念、保育目標を根底とした保育理解への活動。

5. 職員アンケート 評価と改善

- クラスの垣根を越えて、助け合う雰囲気(チーム保育)ができている。人間関係が良い。
- 年齢、経験年数関係なく発言できる環境ができている。
- 研修に参加出来ることが多く、それを全体に発表出来る場がある。
- クラス間での、風通しが良い反面遠慮してしまうことがある。
- 強み・弱みを受け止め、何でも声に出せる関係性及び経験年数に関係なくメンターメンティ制度の活用。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	21人	23人	24人	26人	26人	120人
年度末在籍数	21人	23人	24人	25人	20人	113人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・基本的な生活習慣が身に付くよう、保護者の方にご協力頂きながら取り組んだ。各クラス子ども目線で室内環境の見直しを行う。保育士が肯定的に物事を見る事で、子どもたちにも良い影響を及ぼすと感じる。安定した環境で心を満たし、他者にも目を向けられるようにしていく。
- ・保護者の方の気持ちを受け止めるには、一つ一つの言葉に耳を傾け、その言葉に込められた想いに気づく事が大切と感じた。子育てひろばを通して子育て家庭の交流の場となるよう配慮した。
- ・室内外の環境整備を行った。避難訓練では、実際に災害が起きた時に避難する方法を複数考慮し、行った。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・「ありがとうのこころ」の育みは、基本理念の「養護」に重点を置く必要を感じる。園生活の中で友達や周囲の人との関わり、気持ちを通い合う心地よさを感じられるようにし、心の安定を図る。
- ・次年度は全クラスすくわくプログラムを実施し、改めて子どもたちが主体的に活動する事を意識して保育する。
- ・保護者支援に於いて、相談したいと思って頂ける関係をつくる。保護者の方との日頃のやり取りの中で、想いを受け止め、寄り添いながら一緒にお子さんを見守っていく。
- ・地域のニーズに応じた対応を考慮する。子育てひろばや園見学等を通して、子育て中の方が気軽に相談出来るように配慮する。

3. 職員の育成と離職防止

- ・面談を通して、個々の希望や感じている事を把握した上で、意欲を持って勤務出来る体制や役割分担を行う。
- ・個々の職員の強みと課題を把握し、研修や経験を通して育成していく。
- ・新規採用職員にはメンター職員がつき、関係を築きながら安心して勤務できるようにする。
- ・一人ではなく、チームで働く意識が持てるよう配慮する。
- ・職員自身が保育を楽しむ。

4. 利用者アンケート 評価と改善

「子どもが楽しみにしています」「帰宅時、子どもが楽しかったよと毎日言っています」等、満足されている一方で、「子ども同士のトラブルに関する対応」や「要望や不満はきちんと対応されているか」の質問事項に対し、不十分と感じている方がいらっしゃる様子が伺えた。保護者会で園の対応を説明し、子ども同士のトラブルが起きた際は、保護者の方が不安にならないよう、対応していく。

5. 職員アンケート 評価と改善

アンケートを見ると、職員が一つの方向を見て保育する必要性を感じた。目標を明確にし、目標を達成するために何をするか等、改めて組織づくりを行う。次年度も職員の横の繋がりを持つ事を目標に、チームで保育する意識を持つ。

園見学等で園の雰囲気の良いとの感想を頂いている。又、子どもたちの声掛け等も個々に合わせ工夫しながら声を掛けている。自園の良いところにも着目しながら、継続していく事も大切にしたい。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	18人	20人	21人	21人	21人	101人
年度末在籍数	18人	20人	21人	22人	18人	99人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

・自然を近くに感じることが出来る環境を大いに活用し、散歩に行き身体を動かし、自然を肌で感じる機会を設けた。虫や草花などにも興味を持ち図鑑で調べるなど興味が広がっていった。日々の保育の中で生活、遊びを通して喜怒哀楽を言葉で表したり素直な気持ちを表せるようになり会話を楽しむようになってきた。カプラ遊びの導入を全クラス行い日々の保育に取り入れた。職員はカプラ研修を行い子ども達の遊びが広がるよう進めたところ集中して遊ぶ機会が増えてきた。英語あそび、体育あそびの実施は、楽しく取り組んだ。

・送迎時の保護者との関りを大切にし、笑顔での対応と子どもの様子を伝え安心感が持てるよう努めた。又、面談を通して保育士との信頼関係が近くなり安心感に繋がっている。給食の試食会を行い、美味しいと評価をいただいた。地域交流として子育て広場を実施、利用者は少なかったが、入園へ繋がった方もいた。地域の祭りに参加

・室内、室外の安全点検を実施。防犯訓練、避難訓練は園児を含め行い危険性を伝えていった。食事は、子どものペース、量に気を付け誤嚥、窒息の防止に努めた。午睡中の安全管理を徹底しておこなった。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

・引き続き気候が良い時期は、散歩に出かけ四季の変化を感じたり探索活動ができるようになって行く。興味のあるものを調べたりできるよう図鑑等の充実を図っていく。

・子どもの問いかけには、できるだけ答え会話を楽しんでいく。何かが出来た時は大いに褒め、嬉しさや達成感が感じられるようにしていく。また、メリハリのある生活が遅れるよう活動内容や声のかけ方を工夫していく。

・園児を含めた講師によるカプラ研修を行いより遊びが広がるようにする。カプラを通して、言葉、数量、思考、協同性、自立心等を自然と身に着けていけるよう促していく。職員が意識して取り組んでいく。

・保護者には、日々の丁寧な保育と職員が笑顔で関わる事で安心感に繋がるよう心掛けていく。

・子育てひろばに来た方が、また来たいと思える内容の充実を図っていく。子育ての相談は柔軟に対応していく。

・事故を未然に防げるように引き続き安全点検を行っていく。災害を想定し避難訓練や防犯訓練を行う。食事は、よく噛んで、詰め込みのないよう声を掛け配慮し誤嚥防止をする。午睡時は、仰向け寝を徹底していく。

3. 職員の育成と離職防止

・保育への満足度を高めるためには、職員が保育の楽しさややりがいを実感できる機会を意識的に設けることが重要であるとする。その一つとして、経験豊かな先輩職員の援助や関わりを通し、日々の保育の中で学びや気づきを得られる環境づくりを心がけた。先輩職員と共に子どもと関わる中で成功体験や喜びを共有することが、保育の魅力を実感し、意欲の向上に繋がった。

・常に笑顔を手がけお互いに意見が言いやすい雰囲気を作っていくよう努めた。

・日々の保育や行事等で成果が見られたときは大いに褒め意欲に繋がった。

・失敗を責めるのではなく、次どうするかを考えるよう進めた。

4. 利用者アンケート 評価と改善

・子どもをのびのびと遊ばせてくれて感謝している。イベントがたくさんあり子ども達がいつも楽しそう。

・親を対象に試食会を実施したり、工夫された食事が提供されていることに感謝している。

・担任の先生とその他の先生で、説明の差が大きいと感じている。伝達や引継ぎを改善してほしい。伝達がある時は、きちんと内容を理解し伝えていく。また、登降園時には、すぐにそばに行き子どもの様子を伝えていく。今後も、保護者会から満足に行く評価のために工夫したい。

5. 職員アンケート 評価と改善

・会議の場で意見を出し合い、皆でどのように進めたらよいかを考えるようになった。

・失敗を責めるのではなく、次にどうするかを考えるようになってきた。

・先生方が明るく雰囲気がよい。また、休憩や休みがとりやすくなった。

・保育目標や組織目標は、会議や自己申告シートで全職員に周知していたが、上手く伝わっていなかった。再度、伝えていく。また、指示を求めることが多かったが会議を通して皆で考えて進め園長の確認の上、決まったことは皆で同じ方向を向いて進めていくよう周知した。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	18人	22人	22人	22人	22人	106人
年度末在籍数	18人	22人	22人	22人	22人	106人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・子どもの興味や視線の先を大切にしたい関わりを通して、自然や身近な事象への関心が広がった。
- ・自然物や生き物に触れる体験を積み重ねることで、観察・発見・質問が増え、探求的な姿が育った。
- ・遊びの選択肢を広げる環境づくりにより、子どもが主体的に遊びを選び、継続して取り組む姿が多く見られた。
- ・栽培活動から食育へつなげる取り組みが、好奇心や探求心の芽生えをさらに促した。
- ・活動の広がりに応じて、環境整備や職員配置を柔軟に見直す必要性が明確になった。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・子どもの興味が広がるにつれて活動が多様化し、必要となる環境や見守りの配置も変化するため、環境整備や職員配置をより柔軟に考えていく必要がある。安全を確保し、子どもの主体性を尊重できるよう、職員で連携しながら環境を再検討していくことが求められる。また、探求活動をさらに深めるためには、子どもが自ら調べたり試したりできる環境を基盤としつつ、継続的な探求につながる素材の充実や記録の仕組み等、発展的な仕掛けづくりを検討していく必要がある。さらに、職員間でゴールイメージを共有し、子どものアイデアや興味を拾いながら、活動する楽しさを実感できるようにすることも重要である。
- ・園の取り組みを保護者や地域により伝えていくため、ブログを定期的に更新し、ホームページへの関心を高める工夫も進めていく。

3. 職員の育成と離職防止

- ・意見交換のしやすい人間関係づくりと、働きやすい職場環境の整備に取り組んだ。日々のコミュニケーションを大切にし、互いの意見を尊重し合える風通しの良い雰囲気づくりを進めたことで、職員同士が相談しやすく、安心して働ける環境が整っている。また、職員同士が学び合える機会を意図的に設け、保育の振り返りや実践の共有を通して、互いに成長し合える体制づくりを進めた。これらの取り組みにより、職員の専門性向上と職場への定着を促す基盤が安定してきている。

4. 利用者アンケート 評価と改善

園の取り組みに高い評価と温かいご意見をいただき職員の励みとなった。一方で改善として、オートロックの暗証番号の変更を求めるご意見が寄せられた。不審者侵入の不安や、より安心安全な環境を求める声を受け11月に暗証番号の変更を実施した。今後も継続的な安全対策として、毎年暗証番号の変更を行っていく。アンケートを通して園の良い所は継続し、改善が必要な点には迅速に取り組むことの重要性を再確認した。これからも子どもたちが、わくわくしながら安心して過ごせる園づくりを目指し、保護者の皆様と共に良い園運営に努めていきたい。

5. 職員アンケート 評価と改善

他クラスとの助け合いが増えたことや、休憩がしっかり取れるようになったこと、子どもに配慮した保育が行われていることなど、日々の保育体制に対する肯定的な意見が多く寄せられた。また、職員関係が円滑で、職歴に関係なく意見を取り入れてもらえる風通しの良さや、声をかけやすい雰囲気、園内研修が職員の資質向上に繋がっている点も評価された。一方で、全員参加の会議時間の確保が難しいことや、地域への園のアピールが不足していることが課題として挙げられた。今後は、情報共有の方法を工夫するとともに、園の取り組みを地域に発信する機会を増やしていく必要がある。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	22人	24人	24人	25人	25人	120人
年度末在籍数	22人	23人	23人	24人	22人	114人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

・一人一人に寄り添いながら、子どもの思いをくみ取り、関わりがスムーズに出来るよう援助することが出来た。日々の打ち合わせ等で情報交換を行い、特に個別に配慮が必要な子どもへの対応方法を共通認識とし、安心して過ごせる環境作りに努めた。乳児クラスは進級に向け、交流を深めたことで、成長を促すことが出来た。

・異年齢児交流は、年度後半に多数取り入れることが出来た。思いやりや感謝の気持ちの育ちへと繋がった。

・子育てひろば、保育所体験は後半参加者が増える傾向。入園内定者の利用も多く、1歳児保育室で遊ぶ体験は保護者の安心感へも繋がり、大変好評であった。

・乳児クラスは「大きくなったねの会」から「一緒に遊ぼうね会」へと内容変更をした。子ども達の発表の場と親子一緒に遊ぶ時間を設けたが、子どもの成長した姿と共に園生活の理解や保護者同士の交流にも繋がり、好評だった。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

・異年齢児交流に関して、より子ども達同士の関係性が深まり、保育園での生活が楽しくなる様に、工夫し取り組む。リズム遊びを全クラスで取り入れ、様々なクラスで交流しながら、心身の発達を促していく。

・近隣園との交流の機会を設け、地域との関わりを増やしていく。

・安全計画に基づき、遊具、玩具、室内環境について、毎月「安全点検表」をチェックした。ホールの巧技台の老朽化が見られ、危ないものは処分をするなど、環境を整えた。次年度からは乳児クラスに直径4センチ未満の玩具が無いように、職員の意識も高めながら、しっかり点検をしていく。

・乳児クラスの「一緒に遊ぼうねの会」に関して、参加人数や内容を職員と共に早めに検討しながら、有意義な時間となるよう準備を進めていく。

3. 職員の育成と離職防止

・園内研修を工夫しながら取り入れ、職員の育成に繋げた。安全計画に記載がある基本的な項目(人権・食事・誤飲・誤嚥・SIDS)は、クラス担任同士で具体的に気を付けることや大切にしていることを年度初めに話し合い、その内容の振り返りを実施した。人権に関する研修は、チェックリストを含め、年間通して行った。

・離職防止としては、働きやすい職場環境となるよう、職員との対話を大切にし、園全体で協力する体制作りを行った。職員間で意見が出た際は、皆で話し合い、納得し、共通認識出来るよう取り組んだ。

・メンター制度を実施、新規・異動職員の不安軽減へと繋がった。

4. 利用者アンケート 評価と改善

・園での活動内容や食事、職員との関わり等については、概ね満足・大変満足の回答となっており、保護者と良好な信頼関係が築けているようで安心感へと繋がった。体調不良や怪我の際の対応も十分出来ているとの評価だった。担任以外が引き渡しをする際の対応や、園の基本理念・第三者委員の存在に関する項目に関して、更なる工夫が必要であるため、保護者会での伝え方など、改善をしていく。

5. 職員アンケート 評価と改善

・職員同士の仲が良く、協力体制が確立している。又、異年齢児交流の時間を大切にしているという評価が多かった。

・異動職員が多数いたため、以前の園と比べての意見が多くあった。これまで継続し、大事にしてきた部分の見直しをしながら、より良い職場環境作りを進めていく。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	22人	24人	24人	25人	25人	120人
年度末在籍数	22人	24人	24人	24人	23人	117人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・子どもが主体的に活動できるよう、発達に応じた玩具の見直しや手作り玩具を作成し環境構成を行った。継続して遊べる環境を整えたことで、興味のある遊びに集中する姿がみられた。木製玩具や廃材を利用しての作品作りでは、子ども達の「やってみよう」気持ちが溢れていた。
- ・お米の収穫体験や園での栽培活動を通じて食べ物に対する興味関心が深まり給食の残食も減った。手作りの味噌汁を作った。具材のホウレン草は子ども達が栽培し、保護者も実食味好評だった。
- ・保護者とのコミュニケーションとして、日々の送迎時の対話や個人面談等での関わる機会を大切に丁寧な対応を心掛けた。子育てひろばの参加者にも同様に、意識的に話しかけ”次回もあそびに来たい”と思ってもらえるよう、子育てについて気軽に話せる雰囲気づくりに努めた。
- ・安全面として、災害を想定した訓練やヒヤリハットの共有を行い、職員一人一人の安全意識の向上に努めた。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・環境の見直しや子どもへの援助のタイミング、関わり方等「遊びの芽が広がり夢中になれる環境」について引き続き園内研修などを通じて職員間での共通理解を深め、子ども達の豊かな経験に繋げる。今年度行った園内外の公開保育は振り返りでの感想やアドバイスが良い学びとなり今後も継続する。
- ・災害時の様々な場面を想定し訓練を行った。時間帯によってはその場にいる職員で安全に避難できる様に通報・避難誘導なども全職員が体験する。防災用品を職員誰もが使える様にし、緊急時にも適切に対応できるようにする。
- ・保育室内で怪我などが生じた際は、室内カメラで状況確認を行い、再発防止に向けて職員間で話し合いを行っているが状況を把握しながら職員の位置、子どもの動きや配慮が必要だった事など今後に向けて振り返る事ができるので継続し活用していく。ヒヤリハットもしっかり共有し今後の安全管理に繋げていく。

3. 職員の育成と離職防止

- ・職員一人一人の経験やスキルを踏まえ、役割や目標を明確にし、会議や日々の振り返りを通して意識向上に努めた。
- ・異動者、新規採用の職員が多かった年度だった為、わからない事など細かく丁寧に伝える事を意識した一年だった。
- ・意見を出しやすい環境づくりを心がけたことで、職員間の連携が深まり、安心して働ける職場づくりに努めた。中には意見の強い職員もいるが仲間の思いに耳を傾ける事の大切さを今後も伝えていきたい。
- ・個々の成長を支援しながら、働きやすい環境の維持、向上に努めていく。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- ・日々の保育は子ども達の興味や関心のある活動が行えている点や子どもの気持ちを大切にしたりという項目で概ね良好な評価を頂いている。保育目標でもある3つの心を大切に”わくわくする”子ども達の心が動かされる瞬間を大切にしたり保育をこれからも実践して行きたい。
- ・改善点として、降園時のその日の子ども様子を個別にしっかり伝える事や子ども同士のトラブルにおける対応について意見も見られた。今後は、より分かりやすく丁寧な情報提供に努めていきたい。

5. 職員アンケート 評価と改善

- ・理念や基本方針、業務内容や連携について一定の理解が得られている一方で、職員の定着、業務負担や休憩等の時間配分に関する意見があった。今後は業務の見直しや分担の工夫を行い、効率化を図るとともに、職員が心身ともに安定して働ける環境づくりを進めていく。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	18人	20人	20人	20人	20人	98人
年度末在籍数	18人	20人	20人	20人	20人	98人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- 子どもたち一人一人の気持ちを受け止め、挑戦する気持ちを大切に保育を進めることができた。
- 自然の中からの学びをたくさん取り入れ、遊びを子どもたちが考え発展できる環境を整える取り組みをした。
- 職員が子どもたちの声に耳を傾けて、子どもの今に対応して環境を整えるようにした。
- 保護者との挨拶や日常の会話から、信頼関係を深め子どもの成長を共に喜び合える関係づくりに努めた。
- 第三者委員の方を行事に招き、保育園への理解と保護者へ紹介することができた。
- 玄関も門の施錠のお願いや、危険な個所の確認、防災意識を高める取り組みを行った。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- 子どもの気持ちを受け止めることで、伸び伸びとその見らしく成長する姿を見る事ができた。子どもが何に興味や関心を持っているのかをキャッチして保育を進めて行く。またそれらを展開、発展できる環境を整える。
- 園の環境を十分に活かした保育を考えたり、公園や近隣の施設を活用して保育すすめていく。特に体を動かすという部分においては、園庭では十分な活動ができていないため、近隣の施設の活用を考える。
- 保護者との信頼関係を深めるために、登降園の際の挨拶や日常的な会話によって、子どもの成長を喜びあえる関係づくりを行う。
- 第三者委員を園の行事に招き、保育園への理解や地域の方へ保育園運営を理解していく関係を作る。
- 園内の危険個所を全職員で共有、園庭遊びや園外遊びの際の危険意識を高める園内研修を行う。

3. 職員の育成と離職防止

- 職員同士が助け合う関係づくりや、自分の意見や悩みを言えるように環境を整えた。
- 互いの良いところを認めて、苦手なところを補い合えるような関係づくりが出来るように努めた。
- 休憩時間を確保できるように、クラス同士で協力し合うようにした。
- 2階更衣室でも、休憩が取れるように環境を整えた。
- 園内研修を定期的に行うよう計画を立てたが、思うように園内研修ができなかった。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- 「園での活動は子どもの心身の発達に役立っていると感じている」意見があり、活動が子どもの興味、関心を持ったものになっていると感じてもらっている、今後も子どもたちが今、興味、関心を持っている活動や遊びを沢山取り入れていきたいと思う。
- 安全面で、「玄関の施錠がかかっていない事が多く見られる」との指摘があった。今後、門の施錠がかかっていることを確認する、門の改修工事を含め、老朽化している箇所の改修を行っていきたいと考えている。

5. 職員アンケート 評価と改善

- PCが一人1台となり、事務仕事がスムーズなってきたが、ネットのつながりが悪かったり、Wordが入っていないため、思うような仕事ができないことがあるため、どのような工夫が出来るか考えていきたい。
- 研修に行った際の振り返りを行い、全員に共有できる機会を作った。一人一人の保育の質を高めるための研修を行っていききたい。保育を振り返ったり、周りに保育に目を向けたりすることが、全職員が出来る為、考えていきたいと思う。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	20人	21人	23人	23人	23人	110人
年度末在籍数	20人	22人	21人	22人	21人	106人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・年間を通して継続実施している朝体操に加え、定期的に異年齢児交流を通して、交流する機会が増えた。
- ・日々の様子をアプリや園だよりを通して保護者に伝え、子育ての喜びを得られるようにしている。
- ・継続して子育てひろば等の活動を行う事により地域の子育て家庭とつながりを持っていった。
- ・地域まつりに参加し、紙芝居や体操を行う事により、保育園を知ってもらいきっかけを作った。
- ・防災、防犯への備えとして、毎月実施の避難訓練に加え、地域性を考慮して、マンション上層階への避難を実施した。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・朝体操や異年齢児交流等が、日常として定着しているため、今後は今までのやり方にとらわれずに職員が自由な発想として実施できるようにしていく。
- ・園内の構造上、掲示物の管理が難しい為、アプリを通しての配信に力を注ぎ、保育園の事を知ってもらうようにする。具体的には、子どもの日常の姿や成長の様子を保護者と共有できるよう会議の中で話し合っていく。
- ・現在実施している避難訓練等は、継続していく。その際に担当職員が固定しないようにし、多くの職員が防災防犯の大切さを学んでいく事により、組織としての防災防犯力を高めていく。

3. 職員の育成と離職防止

- ・園内研修を充実し、学び合う体制を整えていった。その事により職員の連携も深まった。
- ・職員同士が意見交換をする機会が増え、保育や行事などを話しあう機会が増え、意欲向上に繋がった。
- ・休暇についても職員同士で話し合いを持ち、交代で休暇を取得する機会を増やした。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- ・降園時等、子どもの様子についての伝え方について意見がある為、職員間で当番の前などの時に再度共有するよう努めている。
- ・保育園の活動に対して概ね満足という意見が多かった。
- ・安全管理で課題だった園庭の排水について、年度末に排水管清掃を行い、園庭遊び等の安全面が向上した。

5. 職員アンケート 評価と改善

- ・休暇が取得しやすくなったという意見が多かった。理由としては、自分のクラスだけでなく、他のクラスについても目を向ける職員が増え、全体のバランスが取れるようになった。
- ・玩具の見直しをする機会があり、玩具が増えたという意見もあり、園での取り組みが実を結んできている。引き続き、玩具の見直し等を職員とすすめていく。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	15人	18人	18人	19人	20人	90人
年度末在籍数	15人	19人	18人	17人	22人	91人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・すくわくプログラムにて「色」をテーマに活動を行い、子ども一人一人の興味や発見を大切にしながら取り組みを進めた。色作りの過程では、子ども同士が試行錯誤し、互いに声を掛け合いながら協力する姿が見られ、協同性や共育ちが自然と育まれた。
- ・保護者支援では、日々の挨拶を大切に、積極的な声掛けで身近に感じてもらえる関係づくりを進めた。保護者の思いに耳を傾け、寄り添うことで相談しやすい環境が整いつつある。子育て広場の充実を通して地域とのつながりも深まった。
- ・安全管理では、日々の生活の中で予防を意識した危機管理に努めた。消防や警察の指導による実践的な訓練を行い、子どもと職員が突発的な事態の対応力を高めた。また、「不適切保育とは何か」を学ぶ研修を継続し、子どもの心に配慮した保育への理解を深めた。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・すくわくプログラムで色からの継続として「素材、表現」などの探究テーマを設定し、子どもの興味を継続的に深める活動を計画する。記録を活用し学びを広げる。
- ・異年齢交流を通して、年上児の思いやりや年下児の憧れを育む機会を増やす。協力や対話が自然に生まれる環境づくりを進める。
- ・行事での親子活動を充実させ、家庭と園が一緒に子どもの成長を喜べる機会を増やす。活動の意図や子どもの姿を伝え、保護者との信頼関係を深める。
- ・アンケートや個別相談で保護者の声を把握し支援に活かす。行事や日々のやり取りを通して保護者、職員、園のつながりを強め、相談しやすい環境を整える。
- ・ヒヤリハットの共有とケース検討会を定期化し、危険予測力と対応力を高める。園内環境を見直し、安全と子ども達の挑戦の両立を図る。

3. 職員の育成と離職防止

- ・すくわくプログラムを軸に、活動前後に打ち合わせと振り返りの時間を設け、子どもの姿や職員の気づきを共有した。保育の楽しさや成功体験を積み重ねることで職員が自信を持って保育に取り組める環境を整え、働き続けたと思える職場づくりにつなげた。
- ・公開保育を計画的に準備し、他園職員に実践を見てもらう機会を設けていく。職員が自分の保育を外部に発信する経験を積み、専門性を高めるとともに、チームで準備を進める過程で、相談しやすい関係性を育む機会を大事にして行く。互いを認め合う環境を強め、離職防止につながる安心感を高めていく。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- ・子ども同士のトラブル発生時の対応と説明に対して、職員毎に説明にばらつきがある点を課題。事実整理や言葉選び、説明の順序に統一性が必要と感じる。伝え方について職員が主体的に学ぶ園内研修を計画し、事例共有、ロールプレイ、個人の振り返りを通して改善点を自ら見つける仕組みを作っていく。
- ・自然体験の充実が求められるため、園庭での栽培や季節の自然観察を継続しながら近隣公園等への定期的な散歩を実施し戸外活動の中での自然体験を心掛けていく。

5. 職員アンケート 評価と改善

- ・職員アンケートでは、情報共有の不足、業務量の偏り、意見が改善に反映されにくい点、会議での発言しづらさなどが課題として挙げられた。
- ・今後は会議などで全員発言ルール徹底、業務手順の見直しによる負担軽減、改善提案の進捗共有、会議で出た意見と対応状況を一覧化し共有スペースに掲示するなど見える化を進め、職員がのびのび働けるよう、環境づくりをより充実させていく。

区分	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
受け入れ定員	18人	18人	18人	18人	18人	90人
年度末在籍数	18人	17人	20人	16人	19人	90人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・子ども一人一人に寄り添い思いを受けとめることで、安心して自己を表現しながら遊び込めるようにした。子どもの興味関心に目を向け「やりたい」に応えられる環境作りを大切に、保育士も一緒に楽しさを共有することで食育や制作活動等、更なる「やってみよう」に繋がった。
- ・日常的に異年齢児で関わる機会を多く持った。年上児の遊びや活動を真似たり年下児に教えてあげる経験を通して、子ども同士で学び合う姿や思いやりの気持ちが育まれた。
- ・「伝達プラス一言」を心掛け、丁寧に子どもの様子を保護者へ伝えた。保護者から家庭の姿を話してくれることも多く、互いに成長を喜んだり情報を共有することが出来た。
- ・日々、些細なヒヤリハットを職員間で共有することで安全への意識が高まり、怪我の減少に繋がった。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・子どもの声や気付きに目を向け、子どもと共に考え環境を整えることでわくわくする遊びが広がるようにする。年齢や発達に応じた経験や体験が十分に出来るように活動内容を工夫していく。
- ・異年齢児交流を積極的に行い子ども同士で様々な刺激を受けあうことで、心身の成長に繋げていく。
- ・保護者との日々のコミュニケーションを大切に園と家庭で子どもの様子を共有し合うことで、気軽に悩みや不安を話せる環境作りと信頼関係を築いていく。
- ・職員間でヒヤリハット等の情報を共有しながら、子どもにとって安心、安全に過ごせる環境について考え整えていく。

3. 職員の育成と離職防止

- ・職員が親しみやすい園の雰囲気作りや連携を図り、協力し合える体制を整えることで働きやすい環境作りを心掛け離職防止に繋がった。
- ・職員の学びたい事や気付きを取り入れた園内研修を実施した。不安や心配に耳を傾け学びに繋げることで自信を持って保育に取り組めるようにした。

4. 利用者アンケート 評価と改善

活動内容や食事、病気や怪我をした際の職員の対応については満足度が高い。「活動が工夫されている」「担任だけでなく園全体で子どもを見てくれている」「職員の対応に好感が持てる」等の高評価がある一方で、自由遊びが多い印象という意見もあった。様々な活動だけでなく自由遊びの中の子どもの育ちにも目を向けられるように保護者への伝え方を工夫していきたい。保護者への子どもの様子の伝え方では丁寧に伝えているが故の「待たされる」等の意見もあった為、状況に合わせた対応を心掛けていく。

5. 職員アンケート 評価と改善

- ・子ども一人一人を全職員で見ている姿勢、寄り添った保育をしている、研修が充実しており、職員間で共有、振り返りを行うことで学びになっているという前向きな評価が多かった。
- ・園の雰囲気の良さが保育に対しても前向きになり、意欲的な行動、やりがい、楽しさへと繋がっている、良い面は引き続き継続できるようにしていく。課題として、平等に休暇や休憩がとれる体制作りがある。全体の把握をしながら職員間でルール作りをする等、改善方法を検討していく。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	18人	18人	18人	18人	18人	90人
年度末在籍数	18人	18人	18人	17人	18人	89人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・子どもたちの「心を育てる」ことを大切に、職員一人一人が子どもの声を聞いて寄り添う保育を意識した。
- ・子どもたちの主体性を育てるために、各クラス職員同士で話し合いながら選べる環境づくりを整えようと進めたが振り返りが出来ずに終わってしまった。次に繋がる保育を全体で考えていきたい。
- ・乳幼児会議の中で保育の振り返りをし、職員同士の考えを知ったり保育を褒め合う機会をつくったことで、より全体で保育を行う意識が強まり、協力したり保育の話をするようになったように感じる。
- ・保護者とのコミュニケーションを大切にし、出来る限り子どもたちのエピソードを伝えられるよう心がけた。
- ・子育てひろばでは、同じ職員を担当にすることで、リピーターが増え安心して利用できるとの声が聞かれ、入園へと繋がっている。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・年度始めに、保育目標や組織目標を提示し、職員に説明することで、園全体が同じ方向を向いて保育ができるようにする。また、「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を活用し保育を見つめる時間をつくる。
- ・すくわくプログラムを行うことで、子どもも大人もよりわくわくする保育を展開できるよう計画し、環境を整える。
- ・保護者との会話を大切にし、その日の子どもの様子を伝える意識を持ち、要望や相談には丁寧に対応する。
- ・安心安全な環境を提供できるよう、安全計画をもとに管理に努める。
- ・「こんなときどうする」を考え、職員同士の連携や想像力を高め、危機管理を行う。
- ・子育てひろば等、地域子育て支援について、周知の工夫を行い、園全体で受け入れを歓迎する雰囲気づくりや親子で楽しめる内容充実を考えていく。

3. 職員の育成と離職防止

- ・職員同士が保育の話が盛り上がり、お互いの考えを知る機会をつくったことで、職員の関係性が良い方向に向かっていると感じている。お互いを褒めたり、言いにくい意見も言える関係性づくりに努めた。
- ・職員とのコミュニケーションを大切にし、風通しのよい環境づくりを意識した。
- ・保育が楽しいと思えるよう職員の意見を尊重し、一緒に考えるように努めたが、職員からのワクワクした保育の提案が少ないように感じ、保育の質向上の難しさも感じた。
- ・些細なことも「ありがとう」と、率先して言うよう心掛け言い合える関係性を大切にしたい。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- ・アンケートから総合満足度は98.5%と高い評価をいただいた。どの保育士も熱心に取り組み、園全体で子どもと関わってくれていると感じる、先生達が皆優しい、園庭やテラスの広さ等環境面も高評価だった。引き続き保育士一人一人が保育への意識を高めて質の向上に努めたい。
- ・園での様子を話してくれて安心と感じてくれる保護者が多い一方で、担任以外だと「特にありません」と言われるとの意見も聞かれた。子ども達の些細な言動も目を向けエピソードを伝える意識を持っていく。

5. 職員アンケート 評価と改善

- ・職員同士の関係が良好で、子どものことや保育のことを考え、話し合える、意見が言いやすい環境であるとの意見が多かった。
- ・園全体で保育を行っている点が良いと感じている職員が多く、継続できるようにしていきたい。
- ・休暇、休憩が取りにくいという意見があり、連携をとりながらできるだけとれるよう改善策を考えていきたい。

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
受け入れ定員	17人	19人	21人	21人	21人	99人
年度末在籍数	17人	20人	19人	19人	22人	97人

1. 保育重点目標とその取り組みに基づく総括 ※箇条書きにて記載

- ・子どもがやりたいと思った時に出来る環境の提供、設定、発信できる関係性の構築を職員が意識した。
- ・子どもの考えを尊重しながら、必要に応じた声掛けや気づきが出来よう心掛けた。
- ・様々な園内研修を行い共通理解を深められるよう取り組むことはできたが、外部研修についての園内報告、振り返りに関してはできないこともあった。
- ・子どもの姿や成長を具体的に伝え、共に子育てを進める関係性を作る。地域への情報発信の強化と子育てひろば実施、近隣施設との関わりを行いコミュニティの構築した。
- ・各家庭の状況を把握し情報を共有、子どもの育ちや関わりを丁寧に伝えるよう心掛け実施することで、信頼関係へつながった。また情報発信、子育てひろば、保育所体験を実施し新規入園に繋げることが出来た。
- ・園内研修を実施、スキルや知識を身につけ緊急時に対応できるようにした。
- ・理解をより深められるようグループに分かれ、経験の差を考慮したことでより理解を深めることが出来た。ヒヤリハットを活かせるように職員会議で振り返りを行ったが、同じような事案が起こることもあった。

2. 総括を受けて改善 ※上記1、を踏まえて、令和8年度にどのように改善するかについて記載してください。

- ・子どもと真剣に向き合う気持ちを意識し、自身も一緒に遊びこみ子どもの気持ちに寄り添い安心出来る存在になり関係を深められるようにする。
- ・子どもの権利、子どもにとって不利益になるようなことがないように園内研修を通して学び意識していく。
- ・保護者状況を把握、理解は継続し保護者の話を丁寧に傾聴する姿勢を持ちさらなる信頼関係の構築に繋げていく。子育てひろば、情報発信、保育所体験も継続して実施していく。
- ・職員が危機管理、安全管理に関して意識付けが持てるような園内研修を繰り返して行い、訓練や実際に経験しスキルアップに繋げる。ヒヤリハットをもとに振り返り、同じような事案が発生しないよう改善し取り組む。

3. 職員の育成と離職防止

- ・園内研修を丁寧に行い、職員同士が共有することで学び合う楽しさを感じ、資質向上や育成に繋がることもあったが職員に応じて必要なスキルや意識が違うこともあり、継続した育成が出来るようにするために課題はある。今後は職員の希望研修を確認し提案もしていく。
- ・職員間のコミュニケーションを活発にできる場面を必要に応じ設けたことで、自然と輪が広がりお互いを認め合い、職員同士の関係が深まり、離職防止に繋がったと感じる。

4. 利用者アンケート 評価と改善

- ・保護者自由意見では園、職員に対し信頼して下さる温かい声もあり、うれしい反面、職員の伝達や対応、態度に不安を感じる声もあり、職員全員が保護者対応について意識し行えるよう取り組んでいく。
- ・安全面で園門の開閉が行えていないとの意見があり、職員、保護者周知を丁寧に行い、継続した声掛けを行う。

5. 職員アンケート 評価と改善

- ・職員の声聴き、必要な会議で話し合い全体周知を図り、良いことは継続し、振り返りと改善を行いたい。
- ・行事内容等見直しを行い、不要な業務等を軽減することで、職員の仕事に対するモチベーションが向上した。
- ・保育士同士の連携、チームワークもよい方向に向いてきているので、更に向上できるように仕事に対しメリハリをつけ、働く環境のさらなる向上に向けた取り組みを進めていく。

1. 定員等

拠点名	利用定員					年度末在籍人数																				外国籍			
						在籍園児数 2026/3/31						認可割合	保育標準時間2026/3/31						在籍割合	保育短時間2026/3/31								在籍割合	
	1歳	2歳	3歳	4.5歳	合計	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計		1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計		1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	人数	割合		
1	葛西	20人	24人	26人	55人	125人	18人	23人	27人	25人	26人	119人	99.2%	16人	20人	21人	19人	22人	98人	82.4%	2人	3人	6人	6人	4人	21人	17.6%	4人	3.4%
2	新堀	20人	22人	22人	44人	108人	20人	20人	20人	21人	23人	104人	96.3%	16人	18人	17人	16人	14人	81人	77.9%	4人	2人	3人	5人	9人	23人	22.1%	2人	1.9%
3	東小松川	12人	18人	22人	48人	100人	17人	22人	23人	23人	24人	109人	109.0%	16人	21人	21人	17人	22人	97人	89.0%	1人	1人	2人	6人	2人	12人	11.0%	0人	0.0%
4	鹿骨	22人	25人	27人	56人	130人	22人	25人	27人	25人	28人	127人	97.7%	22人	23人	20人	24人	26人	115人	90.6%	0人	2人	7人	1人	2人	12人	9.4%	2人	1.6%
5	北葛西	22人	25人	27人	56人	130人	22人	24人	26人	25人	24人	121人	93.1%	18人	16人	22人	21人	22人	99人	81.8%	4人	8人	4人	4人	2人	22人	18.2%	1人	1.0%
6	葛西第二	20人	22人	22人	45人	109人	20人	20人	20人	21人	22人	103人	94.5%	19人	19人	16人	17人	19人	90人	87.4%	1人	1人	4人	4人	3人	13人	12.6%	0人	0.0%
7	春江	24人	24人	30人	62人	140人	21人	25人	29人	31人	25人	131人	93.6%	18人	17人	20人	27人	22人	104人	79.4%	3人	8人	9人	4人	3人	27人	20.6%	4人	3.1%
8	東小岩	17人	20人	20人	42人	99人	18人	18人	18人	18人	22人	94人	94.9%	16人	16人	15人	17人	19人	83人	88.3%	2人	2人	3人	1人	3人	11人	11.7%	0人	0.0%
9	西篠崎	20人	23人	24人	48人	115人	20人	24人	24人	22人	25人	115人	100.0%	20人	19人	21人	21人	24人	105人	91.3%	0人	5人	3人	1人	1人	10人	8.7%	0人	0.0%
10	西小岩	27人	30人	31人	62人	150人	28人	31人	28人	27人	32人	146人	97.3%	26人	25人	21人	26人	30人	128人	87.7%	2人	6人	7人	1人	2人	18人	12.3%	2人	1.4%
11	松江	17人	20人	23人	50人	110人	18人	20人	23人	25人	25人	111人	100.9%	15人	17人	17人	22人	21人	92人	82.9%	3人	3人	6人	3人	4人	19人	17.1%	5人	4.5%
12	松本	18人	24人	25人	51人	118人	20人	23人	23人	25人	26人	117人	99.2%	18人	21人	19人	22人	22人	102人	87.2%	2人	2人	4人	3人	4人	15人	12.8%	7人	6.0%
13	清新	20人	23人	24人	52人	119人	21人	23人	24人	25人	20人	113人	95.0%	20人	19人	22人	23人	19人	103人	91.2%	1人	4人	2人	2人	1人	10人	8.8%	27人	23.9%
14	小松川	24人	24人	24人	48人	120人	18人	20人	21人	22人	18人	99人	82.5%	16人	17人	18人	19人	15人	85人	85.9%	2人	3人	3人	3人	3人	14人	14.1%	21人	21.2%
15	南葛西	16人	23人	23人	48人	110人	18人	22人	22人	22人	22人	106人	96.4%	17人	19人	18人	20人	17人	91人	85.8%	1人	3人	4人	2人	5人	15人	14.2%	4人	3.8%
16	西葛西	25人	26人	26人	51人	128人	22人	23人	23人	24人	22人	114人	89.1%	18人	21人	21人	24人	18人	102人	89.5%	4人	2人	2人	0人	4人	12人	10.5%	10人	8.8%
17	中葛西	27人	28人	28人	56人	139人	22人	24人	24人	24人	23人	117人	84.2%	22人	22人	19人	18人	22人	103人	88.0%	0人	2人	5人	6人	1人	14人	12.0%	1人	0.9%
18	松島	19人	20人	20人	40人	99人	18人	20人	20人	20人	20人	98人	99.0%	16人	17人	13人	18人	19人	83人	84.7%	2人	3人	7人	2人	1人	15人	15.3%	6人	6.1%
19	清新第二	22人	22人	22人	44人	110人	20人	22人	21人	22人	21人	106人	96.4%	15人	20人	19人	17人	16人	87人	82.1%	5人	2人	2人	4人	6人	19人	17.9%	7人	6.6%
20	北小岩	15人	18人	18人	39人	90人	15人	19人	18人	17人	22人	91人	101.1%	12人	14人	15人	15人	19人	75人	82.4%	3人	5人	3人	2人	3人	16人	17.6%	13人	14.3%
21	南篠崎	20人	20人	20人	40人	100人	18人	17人	20人	16人	19人	90人	90.0%	15人	14人	18人	10人	15人	72人	80.0%	3人	3人	2人	6人	4人	18人	20.0%	5人	5.6%
22	新田	18人	20人	20人	40人	98人	18人	18人	18人	17人	18人	89人	90.8%	17人	13人	11人	14人	16人	71人	79.8%	1人	5人	7人	3人	2人	18人	20.2%	3人	3.4%
22	宇喜田	17人	19人	21人	42人	99人	17人	20人	19人	19人	22人	97人	98.0%	15人	17人	16人	15人	20人	83人	85.6%	2人	3人	3人	4人	2人	14人	14.4%	7人	7.2%
合計		462人	520人	545人	1119人	2646人	451人	503人	518人	516人	529人	2517人	95.1%	403人	425人	420人	442人	459人	2149人	85.4%	48人	76人	98人	73人	71人	366人	14.5%	130人	5.2%

2. 延長保育(登録数)

拠点名	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計			月平均登録数			月平均登録率						
	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計							
1	葛西	1人	6人	7人	2人	9人	11人	2人	6人	9人	1人	8人	9人	3人	6人	9人	2人	9人	11人	3人	8人	11人	2人	10人	12人	0人	9人	9人	1人	10人	11人	3人	10人	13人	2人	7人	9人	22人	98人	120人	2人	8人	10人	4.5%	10.5%	8.4%			
2	新堀	2人	4人	6人	2人	6人	8人	2人	6人	8人	2人	7人	9人	3人	7人	10人	3人	7人	10人	3人	7人	10人	3人	7人	10人	3人	7人	10人	3人	7人	10人	3人	7人	10人	32人	79人	111人	3人	7人	9人	6.7%	10.3%	8.9%						
3	東小松川	4人	5人	9人	4人	5人	9人	4人	5人	9人	4人	5人	9人	3人	5人	8人	3人	5人	8人	2人	3人	5人	2人	3人	5人	3人	4人	7人	3人	4人	7人	3人	4人	7人	37人	51人	88人	3人	4人	7人	7.9%	6.1%	6.7%						
4	鹿骨	2人	7人	9人	2人	7人	9人	2人	9人	11人	3人	9人	12人	3人	9人	12人	3人	9人	12人	3人	10人	13人	4人	10人	14人	5人	10人	15人	5人	10人	15人	5人	10人	15人	5人	10人	15人	5人	10人	15人	42人	110人	152人	4人	9人	13人	7.4%	11.5%	10.0%
5	北葛西	6人	7人	13人	6人	8人	14人	6人	8人	14人	6人	7人	13人	5人	6人	11人	5人	6人	11人	5人	6人	11人	5人	7人	12人	5人	5人	10人	5人	7人	12人	5人	7人	12人	3人	7人	10人	62人	81人	143人	5人	7人	12人	11.2%	9.0%	9.8%			
6	葛西第二	4人	7人	11人	4人	7人	11人	6人	10人	16人	6人	11人	17人	7人	12人	19人	7人	12人	19人	7人	12人	19人	7人	12人	19人	8人	12人	20人	8人	12人	20人	8人	13人	21人	80人	132人	212人	7人	11人	18人	16.7%	17.5%	17.2%						
7	春江	3人	4人	7人	3人	4人	7人	4人	5人	9人	4人	5人	9人	4人	5人	9人	4人	5人	9人	4人	6人	10人	5人	7人	12人	5人	7人	12人	5人	7人	12人	5人	7人	12人	51人	69人	120人	4人	6人	10人	9.2%	6.8%	7.6%						
8	東小岩	5人	3人	8人	5人	3人	8人	5人	3人	8人	5人	4人	9人	5人	3人	8人	5人	3人	8人	5人	4人	9人	5人	4人	9人	5人	4人	9人	4人	4人	8人	4人	4人	8人	4人	4人	8人	57人	43人	100人	5人	4人	8人	13.2%	6.2%	8.9%			
9	西篠崎	3人	11人	14人	4人	14人	18人	2人	12人	14人	4人	12人	16人	4人	12人	16人	2人	12人	14人	2人	12人	14人	2人	12人	14人	2人	12人	14人	2人	12人	14人	2人	12人	14人	2人	12人	14人	31人	145人	176人	3人	12人	15人	5.9%	17.0%	12.8%			
10	西小岩	12人	15人	27人	12人	14人	26人	11人	16人	27人	11人	16人	27人	12人	16人	28人	12人	16人	28人	11人	15人	26人	12人	14人	26人	12人	14人	26人	12人	14人	26人	12人	15人	27人	141人	180人	321人	12人	15人	27人	19.9%	17.2%	18.3%						
11	松江	5人	11人	16人	7人	18人	25人	7人	18人	25人	4人	15人	19人	5人	15人	20人	4人	15人	19人	4人	15人	19人	4人	15人	19人	4人	15人	19人	4人	15人	19人	4人	15人	19人	4人	15人	19人	56人	182人	238人	5人	15人	20人	12.3%	20.8%	17.9%			
12	松本	3人	5人	8人	4人	5人	9人	4人	5人	9人	4人	6人	10人	4人	6人	10人	4人	6人	10人	4人	6人	10人	4人	5人	9人	4人	6人	11人	4人	7人	11人	4人	7人	11人	4人	7人	11人	47人	71人	118人	4人	6人	10人	9.1%	8.0%	8.4%			
13	清新	4人	7人	11人	4人	9人	13人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	58人	106人	164人	5人	9人	14人	11.0%	12.8%	12.1%						
14	小松川	1人	7人	8人	2人	7人	9人	2人	7人	9人	2人	7人	9人	2人	7人	9人	2人	7人	9人	2人	7人	9人	3人	7人	10人	3人	7人	10人	3人	7人	10人	3人	7人	10人	3人	8人	11人	28人	85人	113人	2人	7人	9人	6.1%	11.6%	9.5%			
15	南葛西	4人	15人	19人	3人	16人	19人	3人	16人	19人	2人	16人	18人	2人	16人	18人	2人	16人	18人	2人	16人	18人	2人	16人	18人	2人	17人	19人	2人	17人	19人	2人	17人	19人	2人	17人	19人	28人	195人	223人	2人	16人	19人	5.8%	24.6%	17.5%			
16	西葛西	13人	10人	23人	12人	9人	21人	12人	9人	21人	12人	10人	22人	11人	10人	21人	11人	10人	21人	11人	10人	21人	11人	10人	21人	10人	10人	20人	10人	10人	20人	10人	10人	20人	10人	10人	20人	10人	10人	20人	133人	118人	251人	11人	10人	21人	24.6%	14.3%	18.3%
17	中葛西	8人	3人	11人	10人	2人	12人	10人	2人	12人	10人	2人	12人	10人	2人	12人	10人	3人	13人	10人	3人	13人	11人	3人	14人	11人	3人	14人	11人	4人	15人	13人	4人	17人	13人	4人	17人	127人	35人	162人	11人	3人	14人	23.0%	4.1%	11.5%			
18	松島	5人	3人	8人	5人	3人	8人	4人	4人	8人	5人	3人	8人	6人	4人	10人	6人	5人	11人	5人	5人	10人	5人	5人	10人	5人	5人	10人	4人	7人	11人	3人	7人	10人	2人	5人	7人	55人	56人	111人	5人	5人	9人	12.1%	7.8%	9.4%			
19	清新第二	5人	10人	15人	5人	10人	15人	5人	10人	15人	5人	10人	15人	5人	10人	15人	5人	10人	15人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	5人	9人	14人	60人	114人	174人	5人	10人	15人	11.9%	14.8%	13.7%			
20	北小岩	1人	6人	7人	4人	7人	11人	4人	6人	10人	2人	8人	10人	2人	6人	8人	4人	6人	10人	3人	6人	9人	3人	6人	9人	5人	6人	11人	4人	7人	11人	4人	6人	10人	3人	6人	9人	39人	76人	115人	3人	6人	10人	9.6%	11.1%	10.5%			
21	南篠崎	5人	7人	12人	5人	8人	13人	6人	8人	14人	6人	8人	14人	6人	8人	14人	6人	8人	14人	6人	8人	14人	6人	8人	14人	6人	8人	14人	5人	7人	12人	5人	7人	12人	68人	93人	161人	6人	8人	13人	16.2%	14.1%	14.9%						
22	新田	2人	8人	10人	2人	9人	11人	2人	9人	11人	2人	9人	11人	2人	9人	11人	3人	9人	12人	3人	9人	12人	3人	9人	12人	3人	9人	12人	3人	11人	14人	3人	11人	14人	31人	111人	142人	3人	9人	12人	7.2%	17.5%	13.3%						
23	宇喜田	4人	7人	11人	3人	5人	8人	4人	5人	9人	4人	5人	9人	4人	6人	10人	3人	6人	9人	3人	6人	9人	3人	6人	9人	2人	6人	8人	2人	6人	8人	2人	6人	8人	37人	70人	107人	3人	6人	9人	8.3%	9.7%	9.2%						
合計/平均		102人	168人	270人	110人	185人	295人	112人	188人	301人	109人	192人	301人	113人	189人	302人	111人	194人	305人	108人	192人	300人	112人	194人	306人	113人	193人	307人	111人	202人	313人	113人	203人	316人	108人	200人	308人	1322人	2300人	3622人	110人	192人	302人	11.3%	12.3%	12.0%			

3. 子育てひろば、保育所体験 ※子どもの数のみ

拠点名	子育てひろば参加人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 葛西	0人	1人	5人	5人	0人	3人	7人	1人	1人	0人	0人	0人	23人
2 新堀	0人	1人	6人	4人	0人	3人	8人	5人	1人	11人	3人	2人	44人
3 東小松川	0人	3人	3人	0人	0人	13人	9人	5人	0人	5人	5人	0人	43人
4 鹿骨	0人	0人	1人	0人	0人	0人	2人	2人	13人	12人	9人	0人	39人
5 北葛西	0人	4人	1人	0人	0人	11人	10人	5人	1人	7人	5人	0人	44人
6 葛西第二	0人	6人	11人	14人	7人	15人	7人	3人	10人	7人	7人	5人	92人
7 春江	0人	7人	7人	0人	0人	0人	7人	11人	16人	2人	5人	9人	64人
8 東小岩	0人	2人	6人	2人	0人	5人	5人	0人	3人	4人	3人	7人	37人
9 西篠崎	0人	3人	6人	6人	2人	6人	21人	13人	11人	13人	8人	7人	96人
10 西小岩	5人	1人	2人	7人	2人	8人	2人	1人	2人	0人	3人	0人	33人
11 松江	2人	3人	3人	19人	21人	18人	6人	0人	15人	10人	4人	6人	107人
12 松本	0人	2人	2人	6人	9人	4人	14人	8人	3人	6人	4人	2人	60人
13 清新	0人	0人	5人	2人	0人	8人	5人	9人	0人	10人	3人	0人	42人
14 小松川	0人	6人	0人	0人	0人	4人	2人	7人	4人	7人	11人	0人	41人
15 南葛西	1人	0人	0人	3人	3人	8人	10人	7人	0人	1人	2人	2人	37人
16 西葛西	0人	2人	6人	9人	0人	4人	1人	0人	1人	6人	14人	0人	43人
17 中葛西	1人	2人	2人	5人	7人	5人	10人	6人	3人	5人	2人	4人	52人
18 松島	0人	0人	0人	0人	0人	10人	10人	10人	11人	17人	7人	0人	65人
19 清新第二	2人	2人	2人	6人	4人	5人	10人	9人	0人	6人	1人	6人	53人
20 北小岩	0人	1人	4人	4人	2人	13人	7人	4人	4人	3人	3人	3人	48人
21 南篠崎	2人	0人	1人	6人	3人	8人	8人	9人	11人	14人	14人	11人	87人
22 新田	2人	5人	5人	1人	4人	4人	2人	0人	7人	3人	9人	4人	46人
23 宇喜田	5人	1人	3人	7人	3人	2人	3人	3人	0人	2人	1人	2人	32人
合計	20人	52人	81人	106人	67人	157人	166人	118人	117人	151人	123人	70人	1228人

拠点名	保育所体験参加人数 ※サービス推進費子どものみ												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
葛西	0人	0人	0人	3人	0人	3人	6人	0人	1人	0人	0人	0人	13人
新堀	0人	1人	6人	4人	0人	3人	8人	5人	1人	11人	3人	0人	42人
東小松川	0人	3人	3人	0人	0人	13人	9人	5人	0人	5人	5人	0人	43人
鹿骨	0人	0人	0人	4人	0人	5人	11人	0人	0人	0人	0人	0人	20人
北葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
葛西第二	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
春江	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
東小岩	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
西篠崎	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
西小岩	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
松江	0人	3人	0人	6人	0人	0人	0人	0人	0人	5人	4人	0人	18人
松本	0人	2人	2人	6人	9人	4人	14人	8人	3人	6人	4人	2人	60人
清新	0人	0人	0人	1人	0人	8人	3人	0人	8人	0人	6人	3人	29人
小松川	0人	2人	0人	0人	0人	2人	1人	4人	2人	4人	6人	0人	21人
南葛西	0人	0人	0人	3人	3人	8人	15人	4人	3人	1人	6人	6人	49人
西葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人	3人	3人	5人	8人	22人
中葛西	0人	1人	3人	0人	0人	4人	2人	0人	1人	0人	0人	0人	11人
松島	0人	0人	0人	0人	0人	10人	10人	10人	11人	17人	7人	0人	65人
清新第二	0人	0人	0人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人
北小岩	0人	1人	4人	4人	2人	12人	7人	4人	4人	2人	3人	3人	46人
南篠崎	1人	0人	1人	4人	1人	6人	6人	5人	5人	10人	9人	6人	54人
新田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
宇喜田	0人	0人	2人	0人	2人	2人	2人	0人	0人	0人	2人	1人	11人
合計	1人	13人	21人	35人	20人	80人	94人	48人	42人	64人	60人	29人	507人

4.感染症(登園許可書毎数)※インフルエンザはA、B同一とする

拠点名	1	枚数	2	枚数	3	枚数	その他	枚数	合計
1 葛西	インフルエンザA・B	91枚	流行性結膜炎	10枚	RSウイルス	8枚	プール熱、アデノウイルス、水痘、ヒトメタニューモウイルス、溶連菌感染症 他	31枚	140枚
2 新堀	インフルエンザ	49枚	流行性結膜炎	29枚	溶連菌感染症	13枚	感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、手足口病、アデノウイルス、急性出血性結膜炎	25枚	116枚
3 東小松川	インフルエンザ	25枚	溶連菌	17枚	アデノウイルス	9枚	ヘルパンギーナ、胃腸炎、結膜炎、RSウイルス、手足口病、水痘、突発性発疹	21枚	72枚
4 鹿骨	インフルエンザ	53枚	溶連菌感染症	25枚	伝染性紅斑	17枚	コロナ・感染性胃腸炎・水痘・ヘルパンギーナ・RSウイルス・カポジ水痘様発疹症	6枚	101枚
5 北葛西	インフルエンザ	64枚	感染性胃腸炎	16枚	ヘルパンギーナ	5枚	水痘、溶連菌、RSウイルス、手足口病、アデノウイルス、流行性耳下腺炎	15枚	100枚
6 葛西第二	インフルエンザ	62枚	感染性胃腸炎	11枚	溶連菌感染症	8枚	流行性角結膜炎、マイコプラズマ肺炎、ヒトメタニューモウイルス	7枚	88枚
7 春江	インフルエンザ	68枚	溶連菌感染症	22枚	ヘルパンギーナ	9枚	感染性胃腸炎、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、結膜炎、水痘、流行性耳下腺炎	17枚	116枚
8 東小岩	インフルエンザ	43枚	感染性胃腸炎	11枚	ヘルパンギーナ	11枚	りんご病、アデノウイルス、水痘、溶連菌、耳下腺炎、急性湿疹、百日咳	13枚	78枚
9 西篠崎	インフルエンザ	64枚	溶連菌	6枚	ヘルパンギーナ	5枚	感染性胃腸炎、りんご病	5枚	80枚
10 西小岩	インフルエンザ	24枚	溶連菌感染症	13枚	ヘルパンギーナ	5枚	手足口病、りんご病、結膜炎、胃腸炎	13枚	55枚
11 松江	インフルエンザ	94枚	伝染性紅斑	33枚	溶連菌	19枚	ヘルパンギーナ、アデノウイルス、流行性結膜炎、新型コロナウイルス、手足口病	18枚	164枚
12 松本	インフルエンザ	54枚	溶連菌感染症	15枚	感染性胃腸炎	14枚	手足口病9枚・ヘルパンギーナ7枚・伝染性紅斑2枚・咽頭結膜炎(プール熱)1枚・水痘1枚・バラインフルエンザ3枚・突発性発疹症2枚・ヒトメタニューモウイルス1枚	26枚	109枚
13 清新	インフルエンザ	41枚	感染性胃腸炎	7枚	溶連菌感染症水痘	5枚	流行性角結膜炎、手足口病、咽頭結膜熱	7枚	60枚
14 小松川	溶連菌感染症	61枚	インフルエンザ	50枚	咽頭結膜炎	4枚	RSウイルス、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、手足口病、流行性結膜炎	10枚	125枚
15 南葛西	インフルエンザ	52枚	ヘルパンギーナ	12枚	感染性胃腸炎	9枚	アデノウイルス感染症、RSウイルス、溶連菌、流行性結膜炎、ヒトメタニューモ	28枚	101枚
16 西葛西	インフルエンザ	49枚	溶連菌感染症	8枚	ヘルパンギーナ	4枚	水痘、手足口病、感染性腸炎、アデノウイルス、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱、胃腸炎	15枚	76枚
17 中葛西	インフルエンザA・B	52枚	アデノウイルス感染症	18枚	ヘルパンギーナ	14枚	感染性胃腸炎、りんご病、手足口病、流行性角結膜炎	30枚	114枚
18 松島	インフルエンザ	26枚	ヘルパンギーナ	11枚	胃腸炎	6枚	溶連菌感染症、手足口病、コロナウイルス感染症、結膜炎	13枚	56枚
19 清新第二	インフルエンザ	54枚	溶連菌感染症	7枚	感染性胃腸炎	5枚	耳下腺炎、水痘、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑、アデノウイルス感染症	12枚	78枚
20 北小岩	インフルエンザ	43枚	感染性胃腸炎	20枚	溶連菌感染症	5枚	水痘、ヘルパンギーナ、アデノウイルス感染症	15枚	83枚
21 南篠崎	インフルエンザ	27枚	アデノウイルス	7枚	伝染性紅斑	5枚	水痘、ヘルパンギーナ、百日咳、感染性胃腸炎、コロナ	8枚	47枚
22 新田	インフルエンザ	61枚	手足口病	9枚	溶連菌	9枚	アデノウイルス、流行性角結膜炎、水痘、ヘルパンギーナ 他	14枚	93枚
23 宇喜田	インフルエンザ	42枚	アデノウイルス	8枚	感染性胃腸炎	8枚	流行性耳下腺炎、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症	12枚	70枚
合計		1199枚		365枚		197枚		361枚	2122枚

5. AL、食事の配慮の必要(宗教等)

拠点名	AL申請児童数								主だったアレルギー	エピペン等預かり人数
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	在籍割合			
1	葛西	0人	2人	2人	0人	2人	6人	6.1%	鶏卵・牛乳・乳製品・ごま	0人
2	新堀	1人	1人	0人	0人	0人	2人	2.5%	鶏卵・魚類	0人
3	東小松川	0人	1人	0人	0人	0人	1人	1.0%	エビ	1人
4	鹿骨	2人	1人	0人	0人	0人	3人	2.6%	鶏卵	0人
5	北葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0.0%	なし	0人
6	葛西第二	1人	0人	1人	1人	0人	3人	3.3%	卵	0人
7	春江	2人	1人	1人	0人	1人	5人	4.8%	卵、乳、バナナ、りんご	0人
8	東小岩	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0.0%	なし	0人
9	西篠崎	0人	1人	0人	0人	1人	2人	1.9%	卵・山芋	0人
10	西小岩	2人	0人	0人	0人	1人	3人	2.3%	鶏卵	0人
11	松江	2人	0人	4人	1人	0人	7人	7.6%	卵・乳	0人
12	松本	1人	0人	0人	0人	0人	1人	1.0%	消化管アレルギー	0人
13	清新	1人	0人	2人	0人	0人	3人	2.9%	卵	0人
14	小松川	2人	2人	1人	0人	0人	5人	5.9%	卵、乳、小麦、ごま	1人
15	南葛西	1人	2人	0人	0人	0人	3人	3.3%	ごま、大豆、山芋	0人
16	西葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0.0%	なし	0人
17	中葛西	1人	1人	1人	1人	0人	4人	3.9%	鶏卵・魚・甲殻類	0人
18	松島	2人	0人	0人	0人	0人	2人	2.4%	卵	0人
19	清新第二	0人	0人	0人	1人	1人	2人	2.3%	小麦、乳・バナナ	0人
20	北小岩	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1.3%	魚・魚卵	1人
21	南篠崎	1人	0人	0人	0人	0人	1人	1.4%	卵	0人
22	新田	1人	0人	1人	0人	0人	2人	2.8%	小麦、卵	0人
23	宇喜田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0.0%	なし	0人
合計		20人	12人	13人	4人	7人	56人	2.6%		3人

拠点名	他食事の配慮児童数				主訴(宗教食他)
	乳児	幼児	合計	在籍割合	
葛西	0人	0人	0人	0.0%	なし
新堀	0人	1人	1人	1.0%	嚥下調整食(保護者持参)
東小松川	1人	1人	2人	1.8%	お弁当持参・普通食刻み(ダウン症児)
鹿骨	0人	0人	0人	0.0%	なし
北葛西	0人	0人	0人	0.0%	なし
葛西第二	0人	0人	0人	0.0%	なし
春江	0人	0人	0人	0.0%	なし
東小岩	0人	0人	0人	0.0%	なし
西篠崎	0人	1人	1人	0.9%	刻み食
西小岩	0人	0人	0人	0.0%	なし
松江	1人	1人	2人	1.8%	宗教(豚・豚エキス)
松本	0人	0人	0人	0.0%	なし
清新	4人	1人	5人	4.4%	宗教食・弁当
小松川	2人	3人	5人	5.1%	宗教食(除去食3・弁当2)
南葛西	0人	3人	3人	2.8%	宗教食、ベジタリアン
西葛西	1人	1人	2人	1.8%	宗教食
中葛西	0人	0人	0人	0.0%	なし
松島	1人	1人	2人	2.0%	宗教
清新第二	0人	0人	0人	0.0%	なし
北小岩	1人	0人	1人	1.1%	肝移植による服薬の為、柑橘除去
南篠崎	0人	1人	1人	1.1%	宗教食
新田	2人	1人	3人	3.4%	宗教食
宇喜田	3人	0人	3人	3.1%	宗教食(提供1/弁当2)
合計	16人	15人	31人	1.2%	

6. 障害児(区申請)、保護家庭(児相、支援センター関連)

拠点名	障害児(区申請)					合計	園児割合	主だった主訴
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳			
1 葛西	0人	1人	0人	0人	1人	2人	1.7%	衝動的な行動、自閉傾向、自閉スペクトラム、知的発達症
2 新堀	0人	1人	2人	2人	1人	6人	5.8%	ダウン症、発達遅延
3 東小松川	0人	1人	1人	1人	2人	5人	4.6%	自閉症、ダウン症、発達遅滞(言語の遅れ)
4 鹿骨	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0.8%	自閉症
5 北葛西	0人	1人	0人	4人	3人	8人	6.6%	運動麻痺、脳血管障害、自閉症、知的発達遅滞、知的発達遅滞
6 葛西第二	0人	1人	1人	1人	3人	6人	5.8%	自閉症、言葉の遅れ、多動、衝動性、感情のコントロール(癇癪)
7 春江	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0.8%	自閉症知的障害
8 東小岩	0人	0人	1人	2人	0人	3人	3.2%	発達遅滞、自閉症、精神遅滞、注意散漫、衝動的突発的動き
9 西篠崎	0人	0人	0人	1人	1人	2人	1.7%	ダウン症、発達の遅れ
10 西小岩	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0.7%	発達障害
11 松江	0人	0人	2人	0人	3人	5人	4.5%	発語不全、発達の遅れ、ダウン症、知的障害、言葉の遅れ 他
12 松本	0人	1人	2人	1人	2人	6人	5.1%	言語コミュニケーション・多動傾向・自閉症スペクトラム症
13 清新	0人	1人	0人	2人	2人	5人	4.4%	コミュニケーションの難しさ、言葉の遅れ他
14 小松川	0人	0人	1人	1人	1人	3人	3.0%	自閉症の疑い、言葉の遅れ
15 南葛西	0人	0人	2人	0人	1人	3人	2.8%	発達遅延、多動衝動性、情緒不安定
16 西葛西	1人	0人	1人	1人	0人	3人	2.6%	自閉症
17 中葛西	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0.9%	発達遅滞
18 松島	0人	2人	0人	1人	2人	5人	5.1%	自閉症傾向、言葉の遅れ、衝動性 他
19 清新第二	0人	1人	2人	0人	2人	5人	4.7%	自閉症、言葉の遅れ、発達遅滞 他
20 北小岩	0人	1人	0人	2人	2人	5人	5.5%	胆道閉鎖症、言語発達の遅れ、理解力の遅れ 他
21 南篠崎	0人	0人	0人	3人	0人	3人	3.3%	心身言葉の発達の遅れ、こだわり、癇癪
22 新田	0人	0人	1人	1人	1人	3人	3.4%	ダウン症、自閉症
22 宇喜田	0人	0人	1人	0人	2人	3人	3.1%	自閉症、脳性麻痺による下肢機能障害 他
合計	1人	11人	17人	26人	30人	85人	3.4%	

拠点	保護家庭(児相、支援センター関連)					合計	主だった主訴
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
新堀	0人	0人	1人	1人	1人	3人	両親の喧嘩・母が父からDV、兄弟と親とのトラブル 他
東小松川	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
鹿骨	0人	1人	0人	1人	0人	2人	多子家庭(母子家庭)
北葛西	3人	0人	2人	2人	0人	7人	心理的虐待の疑い、虐待の疑い、育児困難 他
葛西第二	0人	1人	1人	0人	0人	2人	
春江	0人	1人	0人	0人	0人	1人	ネグレクト
東小岩	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
西篠崎	0人	0人	0人	1人	0人	1人	虐待の疑い
西小岩	0人	0人	1人	0人	0人	1人	虐待の疑い
松江	1人	1人	1人	0人	0人	3人	虐待疑い、ひどい肌荒れ 他
松本	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
清新	1人	0人	1人	0人	0人	2人	両親の不仲
小松川	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
南葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
西葛西	1人	1人	1人	1人	0人	4人	夫婦喧嘩、父親の泥酔、頭部怪我による通報(病院より)
中葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
松島	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
清新第二	0人	0人	1人	0人	2人	3人	子どもへのDV
北小岩	1人	1人	1人	0人	1人	4人	虐待の疑い(親の喧嘩、教育熱心さによる厳しさ目撃) 他
南篠崎	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
新田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
宇喜田	0人	2人	2人	2人	2人	8人	ネグレクト、兄弟関係への虐待、親子喧嘩 他
合計	7人	8人	12人	8人	6人	41人	

7. 事故件数(事故報告書数)

拠点名	事故報告書件数						通院をした怪我の内容
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
1 葛西	3件	1件	0件	2件	3件	9件	転倒、持っていた遊具が歯茎にあたり切傷、椅子から転倒下唇打撲、転倒水道におでこぶつけ打撲、園庭ベンチから転倒顎を打撲 他
2 新堀	1件	1件	1件	2件	1件	6件	バランスを崩して転倒床に口をぶつけて上唇と歯茎から出血、滑り台を降りた時に他児の指が目に入る 他
3 東小松川	2件	1件	2件	0件	3件	8件	鼻に異物を入れ取れなくなった、肘内症、転倒にて歯をぶつける、室内を走って衝突し顔をぶつけて裂傷 他
4 鹿骨	4件	1件	4件	3件	2件	14件	上唇小帯裂傷、前歯の打撲、唇咬傷、異物刺入傷、擦過傷、腕の打撲、鼻の打撲、歯茎の腫れ 他
5 北葛西	3件	3件	1件	4件	3件	14件	止まろうとしてフェンスに右側頭部をぶつけ切り傷出血。ホールで鬼ごっこ中、転倒し、左肘をぶつけて筋を痛める 他
6 葛西第二	2件	1件	1件	2件	2件	8件	歯牙外傷、目を蹴られた、歯茎外傷、顎の打撲、左上脛挫創、舌裂傷・外傷、皮膚疾患欠損症、鼻部打撲・鼻出血 他
7 春江	1件	4件	1件	1件	4件	11件	肘内障、眼球充血、歯茎出血、口内裂傷、額裂傷(3針縫合)、肘内障、口内裂傷及び歯亜脱臼 他
8 東小岩	1件	0件	3件	1件	0件	5件	肘内障、歯茎の打撲、擦過創、結膜擦過傷、切創 他
9 西篠崎	2件	1件	4件	3件	2件	12件	転倒、衝突による歯の打撲と上唇小帯裂傷、転倒による頭部打撲、トラブルによる顔の擦過傷 他
10 西小岩	1件	4件	1件	0件	2件	8件	ボールを追いかけて滑って床に額をぶつける、他児の足に引っ掛かり転倒し下唇ぶつける 他
11 松江	0件	2件	2件	2件	4件	10件	口元をぶつけ、口内の怪我、打撲骨折、玩具が眼にあたる 他
12 松本	4件	8件	2件	1件	7件	22件	歯牙打撲、舌背咬傷、口唇裂傷、皮下血腫、擦過傷、打撲創、歯根破折(乳歯) 他
13 清新	3件	5件	2件	4件	2件	16件	振り向いた際に柵に目じりをぶつけ擦過傷、顔の引っかき傷、滑り台の下をくぐり頭部擦過傷、転倒による顔の切創 他
14 小松川	3件	1件	1件	2件	2件	9件	転倒による頭部をぶつけ2針縫合、転倒あごの下を切り縫合、前方にバランスを崩し転倒、おでこをぶつけたんこぶになった 他
15 南葛西	0件	3件	2件	1件	0件	6件	額の打撲、後頭部打撲傷、擦過傷、歯牙打撲、上唇小帯の裂傷、下あご挫創 他
16 西葛西	2件	1件	3件	5件	0件	11件	転倒により上唇小帯裂傷、切歯亜脱臼、歯牙打撲、脛の裂傷、顎挫創 他
17 中葛西	3件	3件	2件	0件	3件	11件	亜脱臼、角膜擦過傷、上唇小帯切傷・肘内障 他
18 松島	2件	0件	0件	0件	3件	5件	歯の打撲、顔の怪我 他
19 清新第二	0件	1件	0件	4件	0件	5件	転倒による切り傷、打撲、他児との衝突による歯茎の出血 他
20 北小岩	7件	1件	2件	6件	5件	21件	下顎挫創、指の挫傷、歯の打撲、唇の裂傷、肘内障、頭部外傷、頭部打撲、舌裂傷、靭帯損傷 他
21 南篠崎	0件	0件	1件	0件	2件	3件	バランスを崩し床に歯を強打、椅子に左脛をぶつける、他児の足に躓いて転倒し右小指を地面に強打 他
22 新田	0件	1件	0件	2件	2件	5件	転倒による歯茎の打撲、皮下異物(指の棘)、歯牙打撲、衝突による歯の揺れ、下顎部切創 他
23 宇喜田	3件	2件	2件	2件	0件	9件	右鎖骨骨折、擦過傷、顎挫創、頭部打撲、左額皮下出血、虫刺症 他
合計	47件	45件	37件	47件	52件	228件	

8. ヒヤリハットについて(園児に関するもの)

拠点名	ヒヤリハット(件数)			ヒヤリハットの内容
	乳児	幼児	合計	
1 葛西	71件	39件	110件	保育室から勝手に廊下に出てしまう、異物(砂、花びら)を口に入れてしまう、アレルギーの確認の仕方、玩具を鼻に詰めてしまう、椅子の背もたれからすり抜けてしまう 他
2 新堀	109件	80件	189件	散歩先で、保育士の手を払い駆け出そうとした、公園のつり橋でバランスを崩し、落ちそうになった、給食中、フォークを加えたままお喋りをしていた 他
3 東小松川	51件	50件	101件	他児に手を出したり噛みつく(乳児)、パンを手を持ったまま登園、玩具を口に入れていた、部屋を脱走する、遠足時GPSがリュックに入っていた、鉛筆を持ったまま歩き、つまずき転ぶ 他
4 鹿骨	190件	124件	314件	散歩中、集団から離れた遊具へ一人で向かおうとしていた、公共トイレの非常ボタンを押してしまった、トイレの水栓レバーの根元で指を少し挟んだ、玩具を口に当て吸って遊んでいた 他
5 北葛西	154件	71件	225件	ボールプールから出ようとして足が引っかかり転倒、友達の耳に粘土を入れてしまう、手を離して道路に出ようとした、園ホールからの置き去り 他
6 葛西第二	42件	49件	91件	椅子をわざと引く。それを模倣した子が他にいた、保護者引き渡し後転倒、散歩中の道路の飛び出し、園児同士の衝突、足首にゴムがついていた、避難用滑り台をよじのぼろうとした 他
7 春江	209件	198件	407件	階段から落ちそうになる、消火器の安全ピンが抜かれていた、名札を取ろうとして引っ張り針が出る、口に玩具を入れていた、畑から道路に出ようとしていた、引き渡し後先に門を出ようとした 他
8 東小岩	31件	35件	66件	園庭の目隠しネットの穴の金具に指を入れて慌てて自分で取れなくなる、保育士が外すとともに金具には手を入れない事を伝える、環境整備をし危険な箇所を確認 他
9 西篠崎	57件	59件	116件	遊びに夢中になり衝突しそうになる、棚に上りそうになる、鉛筆を持ったまま立ち歩きそうになった、ブロックを口に入れていた、蒸しパンが喉に引っ掛かりむせた 他
10 西小岩	205件	173件	378件	階段を手すりをつかまらずに降りようとした、手提げ袋やビニール袋を被ろうとした、部屋を出てトイレに行こうとした、散歩中に前を見ず歩き電柱にぶつかりそうになった 他
11 松江	42件	46件	88件	乳児が口に異物を入れる、他児に押される、保育室からの抜け出し、噛みつきそうになる、よそ見をしながら衝突しそうになる、散歩時に飛び出しそうになる、遊具での間違った遊び方 他
12 松本	75件	95件	170件	転倒しそうになる、口にいれようとした、噛みつきようとした、棚にのぼろうとした、寄りかかり転倒しそうになった 他
13 清新	48件	82件	130件	プールサイドの床が熱く対処、伸びた木の枝が顔にぶつかりそうになった、布団に入る際、食べ物が口の中に入っていた 他
14 小松川	45件	71件	116件	棚の裏の隙間に入った玩具を取ろうとし手を入れたら抜けなくなりそうになる、椅子に足が引っ掛かり転倒しそうになった。ハサミを歩きながら使用しようとしていた 他
15 南葛西	72件	71件	143件	給食時の食具を口に入れて歩く、誤嚥に繋がる詰め込み、転倒や衝突、玩具や石を口に入れる、バランスを崩す 他
16 西葛西	157件	168件	325件	床が濡れていたり椅子に正しい座り方をしておらず転倒しそうになった、扉付近で出会いがしらにぶつかりそうになった、噛みつき未遂、葉っぱや玩具等を口に入れそうになった 他
17 中葛西	63件	58件	121件	口の中に食べ物が残っている状態で布団に入ろうとしていた、階段で前の子を押そうとしていた為、危うくドミノ倒し状態になりそうだった 他
18 松島	49件	113件	162件	ケガ、転倒、転落、不注意、ひっかき、かみつき 他
19 清新第二	413件	421件	834件	トイレに行くときに廊下を走ってぶつかりそうになった、鉄棒に袖が引っ掛かりバランスを崩しそうになった、バランスを崩して椅子から落ちそうになった 他
20 北小岩	39件	59件	98件	玩具を投げる、異物等を口に入れる、玩具破損、公園遊具の危険な扱い、机、椅子の上に立つ、口の中に物が入ったまま歩く、扉に指を挟みそうになった、ハサミを持ったまま立ち歩く 他
21 南篠崎	217件	301件	518件	食具の柄を口に入れて遊ぶ、コンビカーでの転倒、色鉛筆やはさみを持ったまま歩く、友達が座ろうとした椅子を引いて転倒しそうになる、アレルギー児食の確認をせずに提供した 他
22 新田	116件	120件	236件	飲食しながらの登園、玩具点検不備、玩具の誤飲、衝突、園外での事前点検不足、食器の落下、門の未施錠、段差からの転倒・落下、喉に物が詰まりかける 他
23 宇喜田	108件	57件	165件	人数把握、玩具使い方、環境設定不備 他

9.研修

※外部研修はWeb研修及び区主催、私立保育園園長会主催研修を含む

拠点名	園内研修			外部研修 キャリアアップ研修含む		法人必須 研修参加 人数
	園内研修	研修内容(具体的な内容を複数記載)		外部研修	参加人数	
1	葛西	9回	防犯防災、嘔吐処理、虐待(言動)、年齢に応じた保育環境、カプラの使い方、プール遊びの安全確認、人権擁護、散歩マニュアル、保育の主体性 他	39回	39人	19人
2	新堀	15回	SIDS、嘔吐、給食アレルギー、散歩、BCP、人権擁護、AED、プール、誤飲、不適切保育からの脱却、不審者対応、こどもの性暴力 他	50回	59人	17人
3	東小松川	10回	散歩コースの点検とマニュアルの読み合わせ、AED使用方法、さすまたを使った防犯訓練水遊びやプール遊びの安全面確認、嘔吐処理、子どもの人権 他	30回	30人	16人
4	鹿骨	8回	AED、人権擁護、10の姿、嘔吐処理、プールマニュアル、散歩、プライベートゾーン、誤嚥、ヒヤリハット、アレルギー、SIDS、消火訓練、感染症、カプラ、BCP 他	82回	82人	20人
5	北葛西	14回	法人給食について、リズム、不適切保育、嘔吐処理、プール・プライベートゾーン、AED、虐待等の防止ガイドライン、子どもの人権、不審者訓練、消火訓練 他	57回	57人	17人
6	葛西第二	22回	おんぶをしない保育、嘔吐処理、人権擁護、プライベートゾーン、リズム、誤飲防止、園庭遊具、交通安全訓練、水害、不審者、園庭遊具、エビペン、ヒヤリハット 他	47回	49人	33人
7	春江	10回	AED、嘔吐、不審者訓練、障碍児研修、保育の質向上、運動遊び、キャリアアップ(マネジメント、乳児幼児保育、保護者支援、食育アレルギー、保健衛生) 他	44回	44人	17人
8	東小岩	20回	不適切保育について「言葉」「行動」などについて)、保育の振り返り(子供の現状や自分たちの保育に対して振り返り) 他	34回	34人	12人
9	西篠崎	11回	SIDS、人権擁護、嘔吐処理、散歩、給食、アレルギー、AED、プールマニュアル、カプラ、誤飲誤嚥、防犯、遊びとリラクゼーション 他	36回	45人	17人
10	西小岩	9回	財務経営研修、コミュニケーション、保育士としての心構え、乳幼児期のアタッチメント、適切保育、就学支援研修、防災研修、AED研修、子どもの権利 他	41回	43人	26人
11	松江	9回	散歩マニュアル確認、SIDS、午睡チェック、食事、アレルギー児への提供の仕方、嘔吐処理の仕方、水遊び、AED・誤飲・不審者対応・不適切保育 他	59回	105人	16人
12	松本	10回	人権擁護、誤飲、食事提供、SIDS、嘔吐処理、散歩・プール(AED含む)、消火訓練、不審者対応、個人情報 他	97回	108人	18人
13	清新	14回	食事について、人権について、SIDS、嘔吐処理、散歩マニュアル、プール水遊びマニュアル、誤飲防止、不適切保育、ドレスコード、不審者対応訓練 他	36回	36人	18人
14	小松川	13回	SIDS、子どもの人権、AED、プールあそび、不適切保育、消火訓練、カプラ研修、交通安全、散歩マニュアル、エビペン、誤飲防止、食事について、BCP 他	80回	83人	16人
15	南葛西	11回	食事、SIDS、園庭危険箇所、通報訓練、AED、散歩・プール、水遊び、人権擁護、不適切保育、嘔吐処理、防犯訓練 他	43回	43人	16人
16	西葛西	11回	人権、食事(アレルギー)、誤飲誤嚥、SIDS、連絡帳の書き方、防災、下痢嘔吐処理、AED、水遊び、カプラ、散歩マニュアル、エビペン 他	68回	68人	20人
17	中葛西	9回	散歩研修、SIDS、人権擁護、プール研修、AED、嘔吐処理研修、自園公開保育 他	93回	93人	19人
18	松島	8回	電話対応、言葉の言い方、AED、給食提供、嘔吐研修、熱中症対策、カプラ研修、不適切保育が起こらないために心がけ 他	30回	30人	15人
19	清新第二	6回	AED、散歩について(危険箇所など確認)、嘔吐処理、人権擁護研修 他	38回	38人	16人
20	北小岩	11回	AED、誤飲時対応、SIDS、散歩、交通安全、嘔吐処理、プール遊び、緊急事故対応、人権、消火通報、プライベートゾーン、事故防止、防犯訓練 他	59回	102人	15人
21	南篠崎	12回	嘔吐処理、食事について、園外保育・散歩、応急救護(AED)、プール・水遊び、人権擁護、不適切保育、消火訓練、カプラ、集団遊び、不審者訓練 他	57回	57人	15人
22	新田	8回	安全計画、人権擁護、食事について、AED、嘔吐処理、誤飲防止、不適切保育、防犯訓練 他	56回	57人	16人
23	宇喜田	14回	AED、救急救命、散歩コース確認、人権、誤飲、食事、午睡、ハラスメント、不審者訓練、カプラ、プールマニュアル、嘔吐処理、SIDS 他	75回	45人	17人
				1251回	1347人	394人